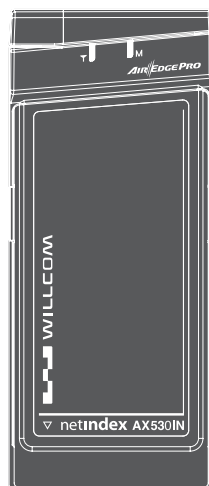


netindex



AIR *EDGE* **PRO**

AX530IN 取扱説明書

はじめに

このたびは、**AIR-EDGE PRO** AX530INをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
本書は本製品の取扱説明書であり、お使いのパソコンで本製品を使用できるようにするまでの
セットアップ方法を使用環境別に説明しています。ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読
みいただき、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」(※4～5ページ)は、必ずお読みい
ただき、安全に正しくお取り扱いください。
また、データ通信やインターネットを利用する方のために、専門用語集を[付録]に簡単に記載、
説明しておりますので一読ください。
お読みになったあとは、いつでも見られるようにお手元大切に保管してください。

動作環境

- PCカードスロットType IIを装備したパソコン
お使いの機種によって動作できなったり不安定になる場合があります。
- Windows 日本語版 2000/XP/Vista
- Mac OS X 10.2/10.2.1/10.2.2/10.2.3/10.2.4/10.2.5/10.2.6/10.2.7/10.2.8/
10.3.4/10.3.5/10.3.6/10.3.7/10.3.8/10.3.9/
10.4/10.4.1/10.4.2/10.4.3/10.4.4/10.4.5/10.4.6/10.4.7/10.4.8

最新の動作確認機種、対応OSについては当社ホームページを参照してください。

URL: <http://www.netindex.co.jp/>

おことわり

本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。

本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

本書の内容については万全を期してはありますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの
点がありましたらご連絡ください。乱丁、落丁はお取替えいたします。

Hayes (ヘイズ)は米国Hayes Micro Computer Products, Inc.の登録商標です。
Windows 2000、Windows XP、Windows Vistaは米国Microsoft Corp.の登録商標です。
Macintosh、Mac OSは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
PIAFSはPHS Internet Access Forum Standardの略称です。
Adobe、Adobe ロゴ、Readerは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の
米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
その他、商品名および製品名などは一般に各社の商標または登録商標です。

本製品が不要となった場合は、モバイルリサイクルネット
ワークのマーク(右記)のあるお店へお持ちください。
携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再
利用するためにお客さまが不要となってお持ちになる電話・
電池・充電器をブランド・メーカー問わず右記マークのある
販売店で回収し、リサイクルを行っております。

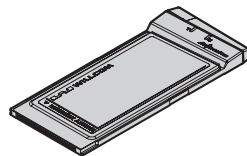


モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

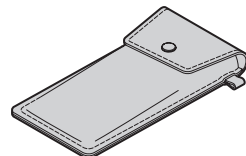
やむを得ず廃棄する場合は、各地方自治体の条例に従って処理するようお願い致します。
梱包材、同梱物についても分別にご協力ください。

梱包品の確認

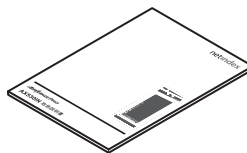
● 本体… 1 個



● キャリングケース… 1 個



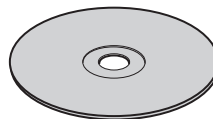
● 取扱説明書(本書) / 保証書(本書裏面)… 1 部



● Easy Setup Tool AIR-EDGE&プロバイダ 簡単設定マニュアル… 1 部



● CD-ROM… 1 枚



CD-ROM内には次のものが収録されています。
お使いのパソコンに合わせてご使用ください。

◆ Windows 関連

- Windows用 Easy Setup Tool
- Windows用セットアップファイル(INF)
- ATコマンドリファレンス マニュアル
- Windows用ユーティリティ

◆ Mac 関連

- Mac用 Easy Setup Tool
- Mac用セットアップファイル(CCL)
- ATコマンドリファレンス マニュアル
- Mac用ユーティリティ

なおユーティリティソフトについては、「ユーティリティ」(※65ページ)を参照してください。

また、各種ソフトウェアについては、付属のEasy Setup Tool AIR-EDGE&プロバイダ簡単
設定マニュアルを参照してください。

● お願い

- ユーザー登録は、当社ホームページ上からオンラインで行ってください。
ユーザー登録時にはカード本体裏面に記載しておりますシリアルナンバー“主”(数字9桁)
をご入力いただきます。

事前にシリアルナンバーをお控えの上ご入力ください。

当社ホームページアドレス: URL <http://www.netindex.co.jp/>

安全上のご注意

安全にお使いいただくために必ずお読みください

- この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
- 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

表示の説明

 警告	 注意
この表示は「人が死亡または重傷 ^{*1} を負う可能性が想定される内容」を示しています。	この表示は「人が傷害 ^{*2} を負う可能性が想定される内容や物的損害 ^{*3} の発生が想定される内容」を示しています。
^{*1} 「重傷」とは、失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。	
^{*2} 「傷害」とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。	
^{*3} 「物的損害」とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。	

図記号表示の説明

		
この絵表示は、必ず実行していただく[強制]内容を示しています。	この絵表示は、してはいけない[禁止]の内容を示しています。	この絵表示は、分解してはいけない[禁止]内容を示しています。

免責事項について

- 地震および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社はその責任を負えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(記憶内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社はその責任を負えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社はその責任を負えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- 当社が関与していない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社はその責任を負えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

警告 必ず、以下の警告事項をお読みになってからご使用ください。

-  車両を運転中に本製品を使用しないでください。
安全走行を損ない、交通事故の原因となります。
-  航空機の機内や病院など、使用を禁止されている場所では本製品を使用しないでください。電波障害により、電子機器や医療機器に影響を及ぼす恐れがあり、事故の原因となります。
-  高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本製品を使用しないでください。電子機器が誤動作するなどの影響を及ぼす恐れがあり、事故の原因となります。
-  本製品を分解、改造しないでください。
火災、感電などの事故、および故障の原因となります。
-  小さいお子様の手の届くところに放置、または手の届くところでの使用は避けてください。火災や感電といった思いがけない事故の原因となります。
-  本製品に付属しているCD-ROMはパソコンのCD-ROMドライブ以外では絶対に使用しないでください。
大音量の発生などにより、耳の障害やスピーカを破損する恐れがあります。
-  電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、本製品を入れないでください。
本製品の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

注意 必ず、以下の注意事項をお読みになってからご使用ください。

-  水や薬品のかかる可能性のある場所で本製品を使用したり、放置したりしないでください。発熱や感電の原因となります。
-  湿気やほこりの多い場所、高温になる場所には保管しないでください。
故障の原因となります。
-  直射日光が当たる場所など高温多湿な場所には置かないでください。
機器の変形や故障の原因となります。
-  乳幼児の手の届く場所には置かないでください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。
-  子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。
-  くらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがや故障の原因となります。
-  本製品の使用終了直後は、本製品が高温になっていることがありますので、取り扱いにご注意ください。その際は、少し時間をおき冷めてから取り外してください。
-  本製品のアンテナ部分に無理な力を加えないでください。
破損する原因となります。
-  本製品のアンテナ部分に針金などの金属を巻きつけたりしないでください。
性能を損ねるだけでなく電波障害を引き起こす可能性があり、また本製品を破損する恐れがあります。

使用上のご注意

お取り扱いについて

- 本製品を次のような場所で使用したり、放置したりしないでください。
 - 極度に高温や低温の場所
 - 湿気が多い場所や水がかかる場所
 - 直射日光のあたる場所
 - ほこりの多い場所
 - 薬品や有害なガスに触れる可能性のある場所
- 万一、本製品から異常な発熱や発煙、異臭が生じた場合は、ただちに本製品をご使用のパソコンから抜き取ってください。お客様による修理は危険ですので、絶対におやめください。
- 本製品を落とすなど、強い衝撃を与えないでください。
- 本製品を曲げたり、重いものを乗せたり、無理な力を加えないでください。
- 本製品をパソコンへセットした状態で、パソコンをカバンやケースに収納しないでください。
- お手入れの際は、アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などは使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。
- 本製品添付のキャリングケースは、製品の外観保護を目的としており、製品に対する強い衝撃や、圧力などを軽減する物ではありません。本製品を持ち運ぶ際は、本体およびキャリングケースに強い衝撃や、圧力などが加わらないように注意してください。
- 表示ランプ点灯中または点灯直後など、本製品動作中は、絶対に本製品をパソコンから取り出さないでください。
- 本製品の使用時や使用終了直後には、カード本体が熱くなっている場合がありますので、本製品をパソコンから取り外す際には取り扱いに注意してください。
- 本製品の使用中に、パソコンのPCカードスロット付近の表面温度が高くなることがあります。長時間にわたって皮膚が触れたままになっていると、低温やけど[※]の原因になりますので注意してください。

※低温やけどについて

体温より少し高い温度のものでも、皮膚の同じ場所に、長時間、直接触れていると、低温やけどをおこすおそれがあります。

付属ソフトウェアについて

製品に付属のソフトウェアの使用にあたり、下記の事項にご注意ください。

- お客様には、本ソフトウェアの使用権のみが譲渡されます。著作権が移転するものではありませんので、第三者への譲渡、販売などはできません。
- 本ソフトウェアのコピーは、保管(バックアップ)の目的にのみ許可されます。他人への譲渡、販売などの目的でコピーすることはできません。
- 本ソフトウェアのご使用にあたり、生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する損害の請求については、当社および販売店などはその一切の責任を負いません。

通信状態について

- 本製品は、通信を行っていない状態で本体の表示ランプ(アンテナマーク側)が赤点灯の時は圏外のため使用できません。赤点灯の状態が続いた場合は場所を移動して緑点灯になるよう調整してください。
- 表示ランプ(アンテナマーク側)が緑点滅している場合、通信が不安定となる恐れがあります。表示ランプ(アンテナマーク側)が安定して緑点灯している状態で通信を行ってください。ただし、安定して緑点灯している場合でも、回線が混んでいて通信ができない場合があります。この場合、しばらくしてからもう一度接続し直してください。
(「表示ランプについて」[※]13ページ)

自動再発信の制限について

- 本製品では、接続できなかった場合の再発信動作(リダイヤル)は3分中2回までとなっています。

その他

- パソコンの電源がONの状態のままで本製品を取り外すと、動作が不安定になる場合があります。その場合はパソコンの電源をいったんOFFにしてください。
- パソコンの電池が不足した状態では、動作が不安定になります。電池の残量をよく確認の上、お使いください。
- テレビやラジオのそばで本製品を使用すると、画面が乱れたり、雑音が入ったりする場合があります。この場合、テレビやラジオから離してお使いください。
- 誤って操作をしたときは、パソコンの電源を一度切り、電源を入れ直してください。
- パソコンに本製品を接続した状態で、スタンバイまたはハイバネーション動作を行うと、お使いのパソコンの機種によっては、まれに正常に動作しない場合があります。そのような場合には必ず本製品を取り外してから、当該動作を行ってください。
- パソコンに本製品を接続した状態で、パソコンの電源をONにしたり再起動を行うと、お使いのパソコンの機種によっては、まれに正常に動作しない場合があります。そのような機種をお使いの場合は、パソコンが完全に起動してから本製品を接続するようにしてください。

もくじ

■ はじめに	2
■ おことわり	2
■ 梱包品の確認	3
■ 安全上のご注意	4
安全にお使いいただくために必ずお読みください	4
■ 使用上のご注意	6
お取り扱いについて	6
付属ソフトウェアについて	6
通信状態について	7
自動再発信の制限について	7
その他	7

1 ご使用になる前に

各部の名称	12
表示ランプについて	13
本製品の操作方法	14
本製品を使用する	14
本製品をパソコンから取り外す	15
変調方式について	16
通信方式について	16
通信方式の設定について	17
アクセスポイントの電話番号に続けて [#mn]を入力する	17
本製品の追加設定に ATコマンド(@0mn)を入力する	17
発信の制限について	18
発信者番号非通知設定について	18
分計サービス設定について	18

2 セットアップ

セットアップの流れ	20
手動によるセットアップ	22
外付けCD-ROMを使用したセットアップを 行う場合	22
Windows 2000	23
ドライバをインストールする	23
プロバイダの各種設定を行う	26
インターネットに接続する	33
接続を終了する	34
本製品をパソコンから取り外す	34
Windows XP	35
ドライバをインストールする	35
プロバイダの各種設定を行う	38
インターネットに接続する	44
接続を終了する	45
本製品をパソコンから取り外す	45

2

セットアップ (つづき)

Windows Vista	46
ドライバをインストールする	46
プロバイダの各種設定を行う	49
インターネットに接続する	54
接続を終了する	56
本製品をパソコンから取り外す	57
Mac OS X	58
ドライバをインストールする	58
プロバイダの各種設定を行う	59
インターネットに接続する	62
接続を終了する	63
本製品をパソコンから取り外す	63
ドライバをアンインストールする	64
Windows の場合	64
Mac の場合	64

3

ユーティリティ

ユーティリティの機能	66
通信設定機能	66
国際ローミング機能	68
ユーティリティのセットアップ	69
Windows の場合	69
Mac の場合	71

4

困ったときに

故障とお考えになる前に	74
本製品が動作しない場合の確認事項	74
確認フローチャート	76
よくある質問	79
仕様について	79
機能について	79
セットアップについて	80
その他	81

5

付 録

コマンドリファレンス	84
ATコマンド	85
Sレジスタ	86
拡張ATコマンド	86
リザルトコード	86
ATコマンドの入力方法例	87
発信者番号通知機能の設定	89
設定画面の表示方法	90
デバイスマネージャ画面(Windows のみ)	90
接続設定画面	91
用語集	95
仕様	98
索引	99
お問い合わせ先	101

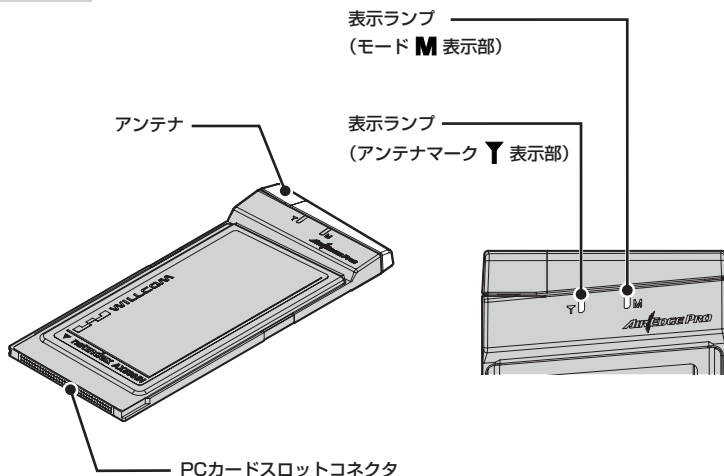
1

ご使用になる前に

各部の名称	12
表示ランプについて	13
本製品の操作方法	14
本製品を使用する	14
本製品をパソコンから取り外す	15
変調方式について	16
通信方式について	16
通信方式の設定について	17
アクセスポイントの電話番号に続けて [#mn]を入力する	17
本製品の追加設定に ATコマンド(@Omn)を入力する	17
発着信の制限について	18
発信者番号非通知設定について	18
分計サービス設定について	18

各部の名称

表 面



裏 面



お願い

- 表示ランプについては、「表示ランプについて」(P13ページ)を参照してください。
- 本製品の操作方法については、「本製品の操作方法」(P14ページ)を参照してください。
- 本製品をパソコンに接続する際は、表面が上向きになるよう接続してください。

表示ランプについて

サービスエリア内の電波状態を6段階表示で、また通信状態の区別をお知らせします。

アンテナマーク(電波の強さ/電源状態) Y 表示部	
ランプの状態	電波の状態
● 緑点灯	安定した通信が行えます。
⦿ 緑点滅(長い点灯⇔短い消灯)	3段階の点滅で電波の状態をお知らせします。 ランプの点灯している時間が短くなるほど電波は弱まります。
⦿ 緑点滅(同じ間隔で点灯⇔消灯)	
⦿ 緑点滅(短い点灯⇔長い消灯)	
● 赤点灯	圏外により、通信できません。
○ 消灯	電源OFF状態です。

MODE M 表示部		
通信状態	ランプの状態	通信方式
発信中/着信中	⦿ 緑点滅	8x/4x/2x/1x パケット方式
	⦿ 赤点滅	64k/32kPIAFS
	⦿ 橙点滅	フレックスチェンジ方式
	○ 消灯	待機中
通信中	● 緑点灯	8x/4x/2x/1x パケット方式
	● 赤点灯	64k/32kPIAFS
	● 橙点灯	フレックスチェンジ方式
	○ 消灯	待機中

お知らせ

- 本製品をパソコンに接続して電源を投入した際、MODE側ランプが数秒間、赤点灯する場合がありますが、これは本製品に対する初期化動作を表示するもので異常ではありません。
- 本製品をパソコンに接続して電源を投入した際、MODE側ランプが赤点灯のままの場合には一度パソコンの電源を切り、再度投入してください。それでも状態が変わらない場合は、サポートデスクにお問い合わせください。(「お問い合わせ先」P101ページ)

1

ご使用になる前に

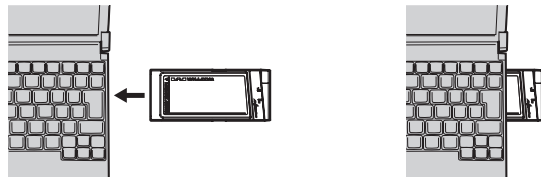
本製品の操作方法

本製品を使用する

1

ご使用になる前に

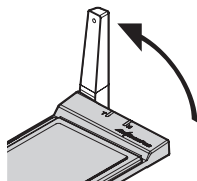
- 1 表面(「各部の名称」P.12ページ)を上向きにし、本製品をPCカードスロットへ右図の位置まで確実に挿入してください。



⚠ 注意

- Easy Setup Toolを利用したセットアップを行う場合は、画面の指示があるまで本製品をパソコンに接続しないでください。正常にセットアップができなくなります。接続してしまい、セットアップができなかった場合は、「ドライバをアンインストールする」(P.64ページ)を参照して削除を行い、再度セットアップを行ってください。
- 表示ランプ点灯中または点灯直後など、本製品動作中は、絶対に本製品をパソコンから取り出さないでください。本製品が故障する可能性があります。

- 2 パソコンへ挿入した後、下図のようにアンテナを垂直方向に動かします。



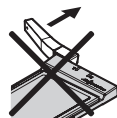
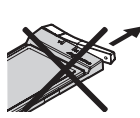
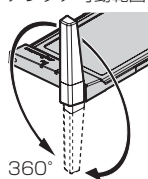
🙏 お願い

- 本製品を使ってデータ通信する際は、電波の状態を良好にするためアンテナを立ててください。

⚠ 注意

- アンテナは水平方向へ動かない構造になっております。絶対に水平方向へアンテナを動かさないでください。アンテナおよび本製品を破損する恐れがあります。

アンテナ可動範囲

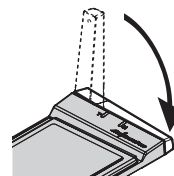


本製品をパソコンから取り外す

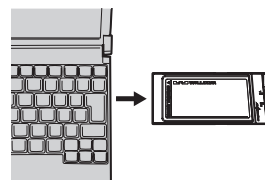
🙏 お願い

- 本製品をパソコンから取り外す際は、あらかじめパソコンの電源を切るか、本製品の動作を停止させる必要があります。停止方法については、下記を参照してください。
 - ・ Windows 2000 P.34ページ
 - ・ Windows XP P.45ページ
 - ・ Windows Vista P.57ページ
 - ・ Mac OSX P.63ページ

- 1 アンテナと製品本体が平行になるようにアンテナをたおしてください。



- 2 パソコンのイジェクトボタンを使用し、水平に取り出してください。

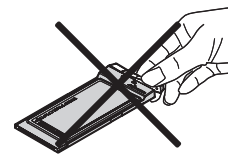
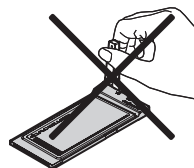


⚠ 注意

- 本製品の使用終了直後は、本製品が高温になっていることがありますので取り扱いにご注意ください。その際は、少し時間をおき冷めてから取り外してください。

⚠ 注意

- アンテナ部のみを持って、抜き差しを行わないでください。アンテナが破損する恐れがあります。必ず製品本体を持って抜き差ししてください。



1

ご使用になる前に

変調方式について

本製品は「W-OAM typeG」に対応しております。

「W-OAM typeG」は、これまでの「W-OAM」の「8PSK」、「QPSK」、「BPSK」の3つの変調方式に加え、「64QAM」、「32QAM」、「16QAM」というさらに高速な3つの変調方式に対応しています。

これまでの「W-OAM」^{※1}に比べ、速度が向上するとともに、電波の状態に応じた変調方式の切り替えをより速く自動的に選択するシステムを有しており、変調方式の切り替えがよりスムーズに実施されます。

※1「W-OAM」は、ウィルコムの高効率化PHS通信規格で、WILLCOM Optimized Adaptive Modulationの略です。電波状態が良好な時には、より高度な変調方式に切り替え、電波が弱い状況においてはより安定性が高い変調方式に自動的に切り替えます。

通信方式について

本製品は以下の通信方式が選択できます。

データ通信を始めるにあたり、通信方式をご理解の上、始めていただくことをおすすめします。

■ 32kPIAFS

PHSデータ通信標準規格の通信方式です。ISDN回線に接続されたPIAFS対応のターミナルアダプタ(TAP)などに接続することにより32kbpsのデータ通信が可能です。

■ 64kPIAFS (ベストエフォート)

基地局の利用状況により通信速度をフレキシブルに選択、通信がつながりやすく、切断されにくい環境を実現するものです。ISDN回線に接続されたベストエフォート方式のターミナルアダプタ(TAPB)などに接続することで最大64kbpsのデータ通信が可能です。

■ フレックスチェンジ方式

トラフィックに応じて1x/2x/4x/8xパケット方式とPIAFS方式を自動で切り替える通信方式です。

■ 1xパケット方式(イチエックス)

データをパケット単位に分割して効率的に送る通信方式です。

■ 2xパケット方式(ニエックス)

1xパケット方式を2チャンネル束ねて増速する通信方式です。

■ 4xパケット方式(ヨンエックス)

1xパケット方式を4チャンネル束ねて増速する通信方式です。

■ 8xパケット方式(ハチエックス)

1xパケット方式を8チャンネル束ねて増速するAIR-EDGE [PRO] 専用の通信方式です。

お知らせ

- パソコン上に表示される通信速度(例: 1.8Mbps)は、パソコンと本製品間の通信速度(DTE速度)であり、実際のデータ通信速度と異なる場合があります。
- 無線モデム、FAX、無線インターネットには対応しておりません。
- 家庭モード、トランシーバモードには対応しておりません。

通信方式の設定について

本製品の通信方式を設定するには、【アクセスポイントの電話番号に続けて【##mn】を入力する】方法と【本製品の追加設定にATコマンド(@Omn)を入力する】方法の2通りがあります。ご都合の良い方法を選んでご利用ください。

お知らせ

- 「mn」には数字が入ります。

アクセスポイントの電話番号に続けて【##mn】を入力する

アクセス方式	##mn
32kPIAFS	##3
64kPIAFS (ベストエフォート)	##4
フレックスチェンジ方式	##7
1xパケット方式	##61
2x/4x/8xパケット方式	##64

お願い

● 8xパケット方式の場合の設定例

電話番号が0570-570-△△△のときは、電話番号の入力欄に以下のように入力します。
0570570△△△##64

お知らせ

- フレックスチェンジ方式、1x/2x/4x/8xパケット方式、2x/4x/8xパケット方式、4x/8xパケット方式対応の料金コースをご利用のお客様は、回線交換方式(32kPIAFS、64kPIAFS)で通信を行う場合、別途回線交換料金が発生しますのでご注意ください。

本製品の追加設定にATコマンド(@Omn)を入力する

本製品の通信設定欄の追加設定に[@Omn]を入力します(Oはアルファベットのオーです)。たとえば[@064]と入力した場合は、電話番号の末尾に(##64)を入力しなくても、8xパケット方式で通信を行います。

アクセス方式	@Omn
32kPIAFS	@03
64kPIAFS (ベストエフォート)	@04
フレックスチェンジ方式	@07
1xパケット方式	@061
2x/4x/8xパケット方式	@064

お願い

- 通信方式の設定を正しく行わないと通信ができません。
- 2通りの方法で設定を行った場合、[@Omn]の設定よりも【##mn】の設定の方が優先されます。

発着信の制限について

フレックスチェンジ方式、1xパケット方式、2xパケット方式、4xパケット方式、8xパケット方式の場合、**発信(電話をかける)**のみ可能で、**着信(電話をうける)**はサポートしておりません。

お知らせ

- 発信：データ通信における発信とは、電話をかけることをいいます。
着信：データ通信における着信とは、電話をうけることをいいます。
※どちらもデータの送受信方向とは異なります。
- 本製品は自営標準には対応しておりません。このため子機登録による家庭モードおよび子機間通信(トランシーバモード)ではご利用いただけません。

発信者番号非通知設定について

発信者番号非通知設定は、ターミナルソフトなどからATコマンド入力により、通知/非通知を設定することができます。設定方法については、「発信者番号通知機能の設定」(※89ページ)を参照してください。

お願い

- 発信者番号を非通知に設定した場合、PRINなどの各プロバイダにおいて、接続することができなくなることがあります。非通知に設定する場合には、充分注意してください。

分計サービス設定について

分計サービスとはウィルコムが提供するサービスです。通話料金の請求先を2つに分けることができますので、ビジネス用/プライベート用など、用途に応じた料金の区別が可能です。

分計サービス設定は、ユーティリティ、またはターミナルソフトなどからのATコマンド入力により、設定することができます。本設定は、国内でのみ有効です。

ユーティリティによる設定方法については、「ユーティリティの機能」(※66ページ)、ATコマンド入力による設定方法については、「コマンドリファレンス」(※84ページ)を参照してください。

お願い

- 分計サービスをご利用になるには、別途ウィルコムに申込が必要です。詳しくは、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。
- パケット方式・フレックスチェンジ方式によるデータ通信には分計サービスをご利用いただけません。
- 国際ローミングに対応した海外において、その機能を利用して通信などを行う場合には、分計機能は無効となります。出張などで、一時的に海外で使用した後、帰国される場合には、国際ローミング設定を国内に設定しなおして頂くことで、分計設定は有効に戻ります。

2

セットアップ

セットアップの流れ	20
手動によるセットアップ	22
外付けCD-ROMを使用したセットアップを行う場合	22
Windows 2000	23
ドライバをインストールする	23
プロバイダの各種設定を行う	26
インターネットに接続する	33
接続を終了する	34
本製品をパソコンから取り外す	34
Windows XP	35
ドライバをインストールする	35
プロバイダの各種設定を行う	38
インターネットに接続する	44
接続を終了する	45
本製品をパソコンから取り外す	45
Windows Vista	46
ドライバをインストールする	46
プロバイダの各種設定を行う	49
インターネットに接続する	54
接続を終了する	56
本製品をパソコンから取り外す	57
Mac OS X	58
ドライバをインストールする	58
プロバイダの各種設定を行う	59
インターネットに接続する	62
接続を終了する	63
本製品をパソコンから取り外す	63
ドライバをアンインストールする	64
Windowsの場合	64
Macの場合	64

セットアップの流れ

本製品を使ってデータ通信を行うには、セットアップを行う必要があります。

セットアップは、2通りの方法があり、簡単にプロバイダ設定まで行えるEasy Setup Toolを利用したセットアップと手動によるセットアップがあります。ここでは手動によるセットアップでインターネットに接続するまでの流れを図で説明しています。

なお、この説明では、代表的なOSやソフトウェアを使っていますが、使用環境によって多少異なる場合もあります。最新情報は当社ホームページでご確認ください。

URL: <http://www.netindex.co.jp/>

お知らせ

- Easy Setup Toolは付属CD-ROMに収録されています。Easy Setup Toolを利用したセットアップを行う場合は、付属の「Easy Setup Tool AIR-EDGE&プロバイダ簡単設定マニュアル」を参照してください。
- Easy Setup Toolが使用できるOSは次のとおりです。
 - Windows 2000/XP/Vista
 - Mac OS X
- セットアップを行う際は、「コンピュータの管理者(Administratorなど)」のユーザー名でログインする必要があります。コンピュータのログオン用に複数のユーザー名を作成している場合にはご注意ください。

注意

- Easy Setup Toolを利用したセットアップを行う場合は、画面の指示があるまで本製品をパソコンに接続しないでください。正常にセットアップができなくなります。接続してしまい、セットアップができなかった場合は、「ドライバをアンインストールする」(※64ページ)を参照して削除を行い、再度セットアップを行ってください。

Easy Setup Toolを利用したセットアップ

付属CD-ROMをお使いのパソコンにセットする
Easy Setup Toolが起動します。
画面の指示に従い各種設定を行います。

次ページへ

手動によるセットアップ

本製品をパソコンへ接続する
本製品の操作方法 ⇒ 14ページ

次ページへ

Easy Setup Toolを利用したセットアップ

前ページから

本製品をパソコンへ接続する

本製品の操作方法 ⇒ 14ページ

ドライバのインストール、
プロバイダの各種設定を行う

Easy Setup Tool画面の指示に従いインストールおよび各種設定を行います。

インターネットに接続する

Windows 2000 ⇒ 33ページ
Windows XP ⇒ 44ページ
Windows Vista ⇒ 54ページ
Mac OS X ⇒ 62ページ

接続を終了する

Windows 2000 ⇒ 34ページ
Windows XP ⇒ 45ページ
Windows Vista ⇒ 56ページ
Mac OS X ⇒ 63ページ

本製品をパソコンから取り外す

Windows 2000 ⇒ 34ページ
Windows XP ⇒ 45ページ
Windows Vista ⇒ 57ページ
Mac OS X ⇒ 63ページ

手動によるセットアップ

前ページから

ドライバをインストールする

Windows 2000 ⇒ 23ページ
Windows XP ⇒ 35ページ
Windows Vista ⇒ 46ページ
Mac OS X ⇒ 58ページ

プロバイダの各種設定を行う

Windows 2000 ⇒ 26ページ
Windows XP ⇒ 38ページ
Windows Vista ⇒ 49ページ
Mac OS X ⇒ 59ページ

手動によるセットアップ

外付けCD-ROMを使用したセットアップを行う場合

PCカードスロットが一つしかなく、またそのPCカードスロットを経由して外付けCD-ROMドライブを使用する場合には、以下の手順に沿ってセットアップを行ってください。

- 1 Cドライブ上に新規フォルダを作成します。
- 2 外付けCD-ROMドライブに付属のCD-ROMをセットし、CD-ROM内の[AX530IN] フォルダを手順①にて作成した新規フォルダへフォルダごと、コピーします。
- 3 付属のCD-ROM、および外付けCD-ROMドライブを外します。後は、各OSの手順に沿ってセットアップを行ってください。なお、認識動作においてドライバの検索場所を指定する際、検索場所は手順①にて作成した新規フォルダ内を指定してください。また、セットアップが完了しましたら、手順①にて作成したフォルダは削除してください。

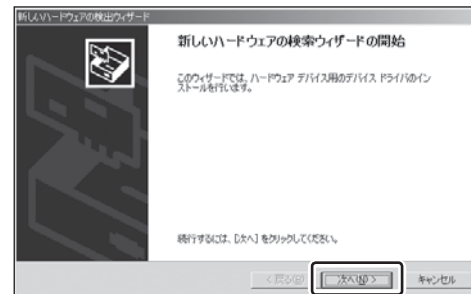
手動によるセットアップ —Windows 2000—

ドライバをインストールする

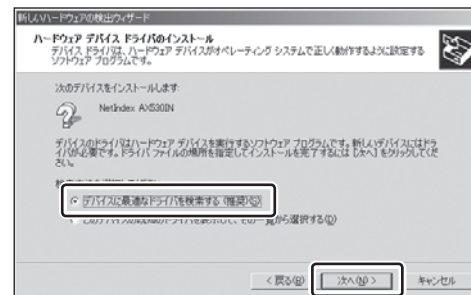
お知らせ

- セットアップを行う際は、「コンピュータの管理者 (Administrator など)」のユーザー名でログオンする必要があります。コンピュータのログオン用に複数のユーザー名を作成している場合にはご注意ください。

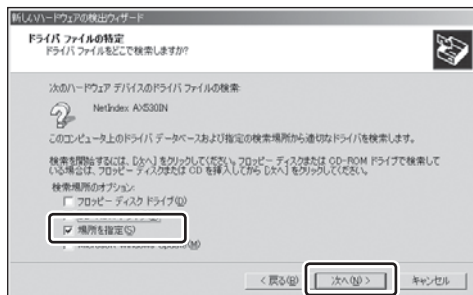
- 1 パソコンの電源をONにし、Windows 2000を起動します。
- 2 付属のCD-ROMをパソコンにセットしてください。「Easy Setup Tool」が起動したら画面を閉じて、「Easy Setup Tool」を終了させてください。
- 3 本製品をパソコンのPCカードスロットに接続します。 (「本製品の操作方法」※14ページ)
- 4 [新しいハードウェアの検索ウィザード]が起動します。[次へ]をクリックします。



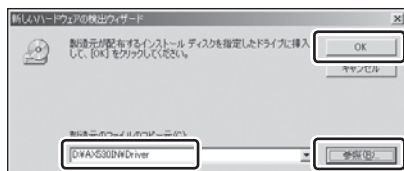
- 5 [デバイスに最適なドライバを検索する]を選択し、[次へ]をクリックします。



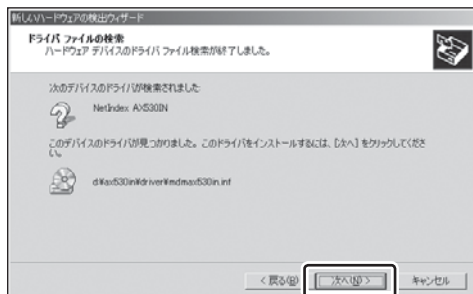
- 6 [場所を指定]にチェックをつけて、[次へ]をクリックします。



- 7 [参照]をクリックし、CD-ROM内の[AX530IN]フォルダの中の[Driver]フォルダを選択します。[OK]をクリックします。



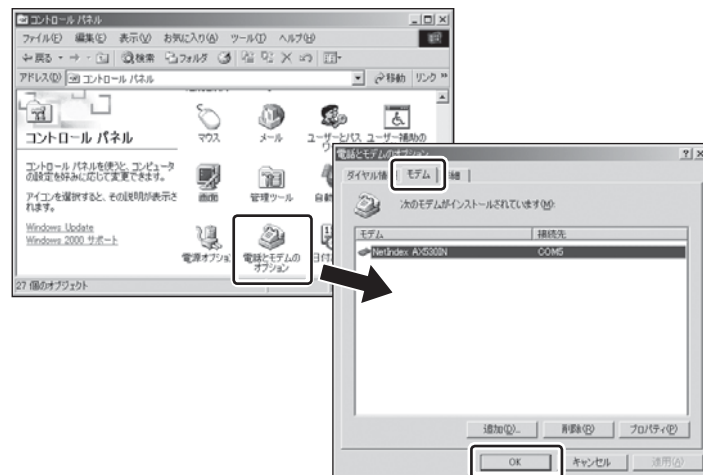
- 8 [次へ]をクリックします。



- 9 [完了]をクリックします。



- 10 [マイコンピュータ]→[コントロールパネル]内の[電話とモデムのオプション]をダブルクリックします。[電話とモデムのオプション]画面が表示されたら、[モデム]タブをクリックし、モデム表示の中に本製品が表示されていることを確認してください。表示があれば、ドライバのインストールは完了です。[OK]をクリックし、[電話とモデムのオプション]画面を閉じてください。



お知らせ

- これでドライバのインストールは完了です。以降は本製品をパソコンに接続するだけで自動認識されます。正しく認識されない場合は、「確認フローチャート」(P.76ページ)を参照し、確認を行ってください。

プロバイダの各種設定を行う

本製品を使ってプロバイダに接続する場合の具体的な設定例について説明します。
ここでは、以下のものが必要となります。

- ◆ プロバイダの電話番号(アクセスポイント)
- ◆ DNSアドレス(ネームサーバーアドレス)

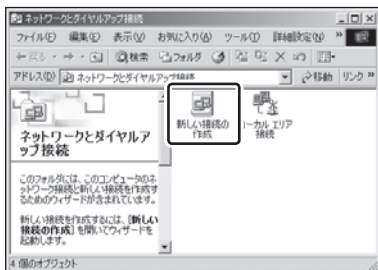
お願い

- ネットワークに接続するためには、通常ダイヤルアップネットワークを使います。ダイヤルアップネットワークがお使いのパソコンにインストールされていない場合 Windows 2000のマニュアルをご覧ください。

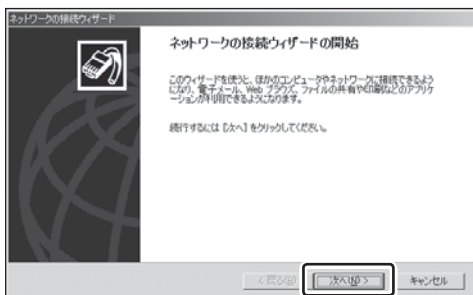
お知らせ

- インターネット簡単接続サービス「PRIN」をご利用になれば、プロバイダに加入されていない方でもすぐにインターネット接続が可能です。

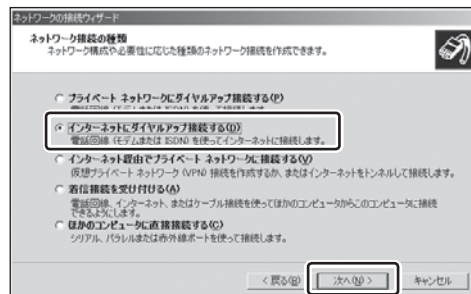
- 1 デスクトップ画面上の[スタート]から[設定]→[コントロールパネル]→[ネットワークとダイヤルアップ接続]と開いていき[新しい接続の作成]をダブルクリックします。



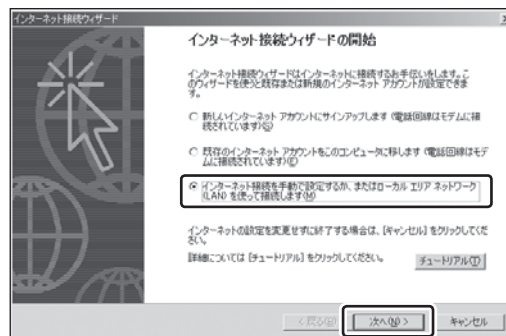
- 2 [ネットワークの接続ウィザード]が起動します。[次へ]をクリックします。



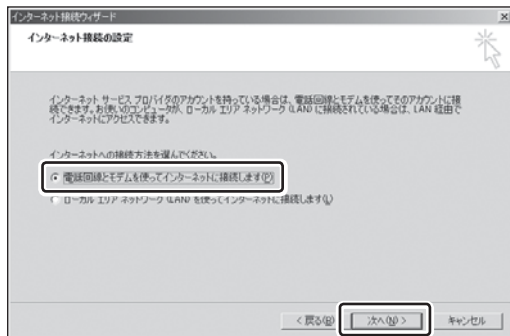
- 3 [インターネットにダイヤルアップ接続する]を選択し、[次へ]をクリックします。



- 4 [インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク(LAN)を使って接続します]を選択し、[次へ]をクリックします。



- 5 [電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します]を選択し、[次へ]をクリックします。



- 6 [インターネットへの接続に使うモデムを選択する]で[NetIndex AX530IN]を選択します。[次へ]をクリックします。



お知らせ

- 他のモデムがインストールされていない場合は、手順⑤の画面は表示されません。手順⑦へ進んでください。

- 7 プロバイダから取得したアクセスポイントの電話番号を確認します。
電話番号の入力は、契約したプロバイダのアクセスポイントがどうい通信方式をとっているかによってそれぞれ変わってきます。(「通信方式の設定について」※17ページ)
プロバイダから取得した情報をもとに、アクセスポイントの通信方式を確認してください。

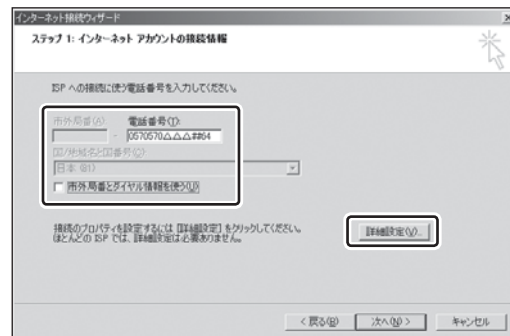
- 8 [市外局番]は空欄にし、[電話番号]へ手順⑦で確認した電話番号を入力します。
利用する通信方式に対応した電話番号(例：0570-570-△△△)を市外局番から入力し、電話番号の最後に通信方式を指定する##mnを加えてください。

お願い

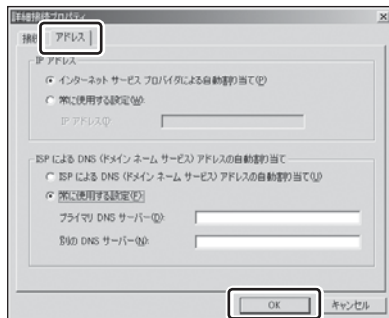
- 電話番号入力時、局番間の- (ハイフン) は入力不要です。
以下のように入力してください。電話番号は例です。

◆32kPIAFSの場合	: 0570570△△△##3
◆64kPIAFS (ベストエフォート) の場合	: 0570570△△△##4
◆フレックスチェンジ方式の場合	: 0570570△△△##7
◆1x/4x/8xパケット方式の場合	: 0570570△△△##61
◆2x/4x/8xパケット方式の場合	: 0570570△△△##64

国番号は[日本(81)]を選択し、[市外局番とダイヤル情報を使う]チェックボックスのチェックを外します。[詳細設定]をクリックします。



- 9 [アドレス]タブを選択します。プロバイダの指示に従って設定を行ってください。設定が完了したら、[OK]をクリックします。



お願い

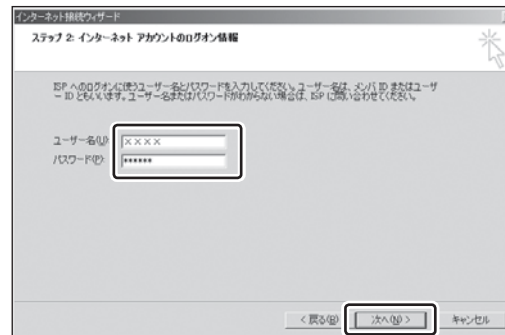
- プロバイダからDNSアドレスが指定されていない場合や接続ができない場合は、[ISPによるDNS (ドメインネームサービス)アドレスの自動割り当て]を選択してください。

- 10 手順⑨の画面に戻りますので[次へ]をクリックします。

お願い

- [次へ]をクリックした後に電話番号の入力についてエラーメッセージが表示される場合があります。その場合は、[戻る]をクリックして手順⑧の画面まで戻り、"##mn"の入力を削除して設定を進めてください。

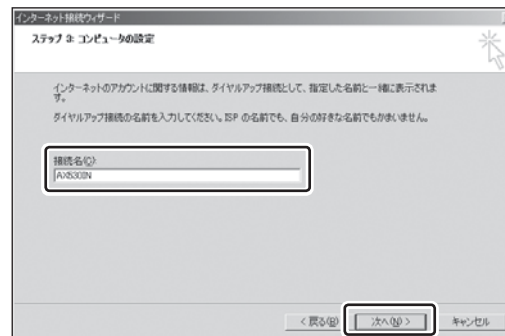
- 11 インターネットアカウントのログオン情報(ユーザー名、パスワード)を入力し、[次へ]をクリックします。



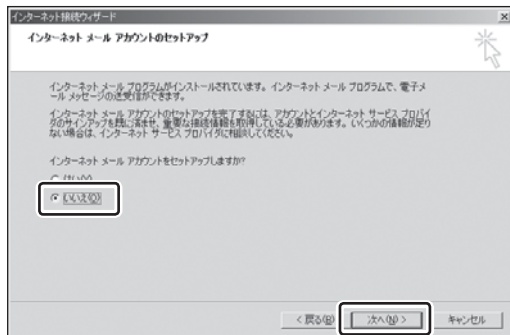
お願い

- 画像のユーザー名は[x x x x]となっていますが、実際にはお客様ご自身がプロバイダから取得したユーザー名を入力してください。

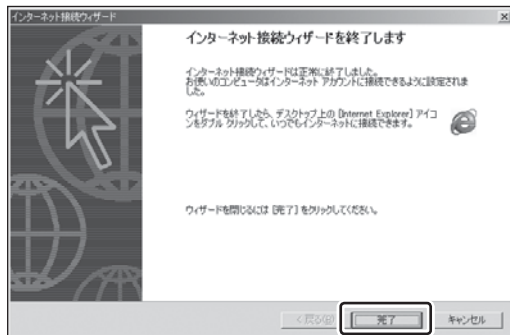
- 12 接続名として、プロバイダの名称や通信方式など(例ではAX530IN)を入力して、[次へ]をクリックします。



- 13 [いいえ]を選択し、[次へ]をクリックします。
(メールアドレスの設定は、後からインターネット接続ウィザードを起動して設定することができます。)



- 14 [完了]をクリックします。



「ダイヤルアップネットワーク」画面内にアイコンが作成されます。これで設定は完了です。

お願い

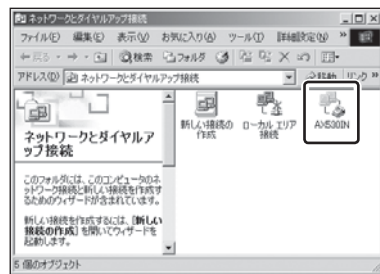
- 手順⑩で「[#mn]」が入力できなかった場合、作成されたアイコンをダブルクリックして「プロパティ」をクリックします。(「接続設定画面」参照91ページ)
[全般]タブを選択し、[電話番号]に「[#mn]」を追加して[OK]をクリックしてください。

インターネットに接続する

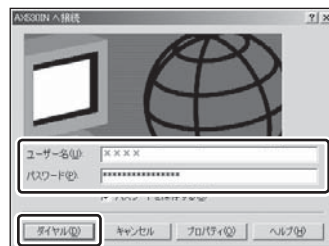
インターネットに実際に接続するためには、プロバイダから取得した以下の情報を手元に用意してください。

- ◆ ユーザー名
- ◆ パスワード

- 1 デスクトップ画面内の[スタート]から[設定]→[ネットワークとダイヤルアップ接続]画面を開きます。「プロバイダの各種設定を行う」(参照31ページ)の手順⑫で入力した接続名(例ではAX530IN)と同じアイコンを選択し、ダブルクリックします。



- 2 プロバイダから取得したユーザー名、パスワードを入力し、[ダイヤル]をクリックします。プロバイダへの接続が開始されます。



お願い

- 画像のユーザー名は「××××」となっていますが、実際にはお客様ご自身がプロバイダから取得したユーザー名を入力してください。

- 3 インターネットエクスプローラなどのブラウザを起動してください。

接続を終了する

- お使いのパソコンの画面右下に表示されるダイヤルアップ接続アイコンを右クリックし、表示されるメニューより[切断]をクリックします。



←ダイヤルアップ接続アイコン

本製品をパソコンから取り外す

- お使いのパソコンの画面右下に表示されるハードウェアの取り外しアイコンをクリックし、表示されたハードウェアから[NetIndex AX530IN]をクリックします。



←ハードウェアの取り外しアイコン

- [NetIndex AX530IN は安全に取り外すことができます。]のメッセージが表示されたことを確認します。
- 「本製品をパソコンから取り外す」(※15ページ)を参照して、本製品を取り外してください。

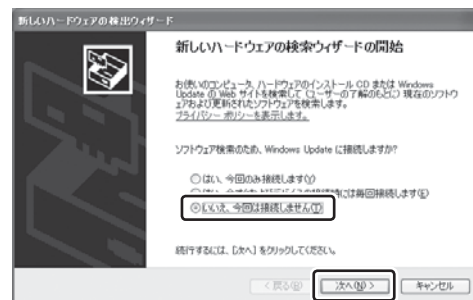
手動によるセットアップ —Windows XP—

ドライバをインストールする

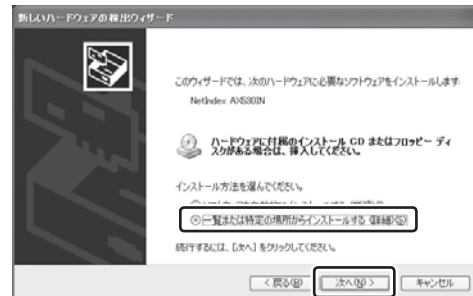


- セットアップを行う際は、「コンピュータの管理者(Administratorなど)」のユーザー名でログオンする必要があります。コンピュータのログオン用に複数のユーザー名を作成している場合にはご注意ください。

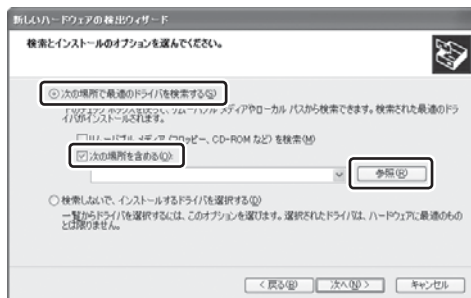
- パソコンの電源をONにし、Windows XPを起動します。
- 付属のCD-ROMをパソコンにセットしてください。「Easy Setup Tool」が起動したら画面を閉じて、「Easy Setup Tool」を終了させてください。
- 本製品をパソコンのPCカードスロットに接続します。(「本製品の操作方法」※14ページ)
- [新しいハードウェアの検索ウィザード]が起動します。[いいえ、今回は接続しません]を選択し、[次へ]をクリックします。



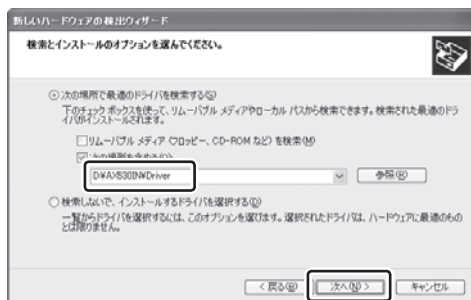
- [一覧または特定の場所からインストールする(詳細)]を選択し、[次へ]をクリックします。



- 6 [次の場所ですべてのドライバを検索する]を選択し、[次の場所を含める]のみにチェックを付けます。[参照]をクリックします。



- 7 CD-ROM内の[AX530IN]フォルダの中の[Driver]フォルダを選択し、[OK]をクリックします。[次へ]をクリックします。



- 8 [完了]をクリックします。



お知らせ

- これでドライバのインストールは完了です。以降は本製品をパソコンに接続するだけで自動認識されます。正しく認識されない場合は、「確認フローチャート」(p.76ページ)を参照し、確認を行ってください。

プロバイダの各種設定を行う

本製品を使ってプロバイダに接続する場合の具体的な設定例について説明します。
ここでは、以下のものが必要となります。

- ◆ プロバイダの電話番号(アクセスポイント)
- ◆ DNSアドレス(ネームサーバーアドレス)

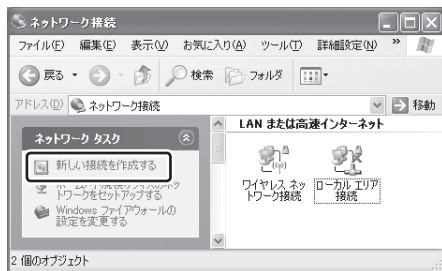
お願い

- ネットワークに接続するためには、通常ダイヤルアップネットワークを使います。ダイヤルアップネットワークがお使いのパソコンにインストールされていない場合 Windows XPのマニュアルをご覧ください。

お知らせ

- インターネット簡単接続サービス「PRIN」をご利用になれば、プロバイダに加入されていない方でもすぐにインターネット接続が可能です。

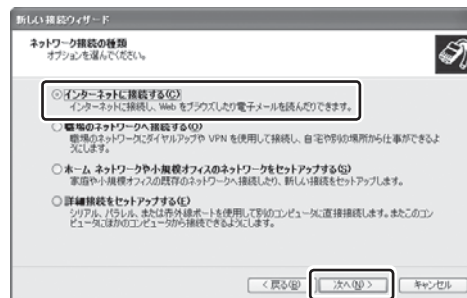
- 1 デスクトップ画面の[スタート]から[コントロールパネル]→[ネットワークとインターネット接続]→[ネットワーク接続]画面を開き、[ネットワークタスク]の中の[新しい接続を作成する]をクリックします。



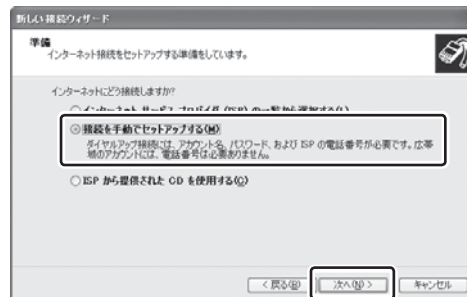
- 2 [新しい接続ウィザード]が起動します。[次へ]をクリックします。



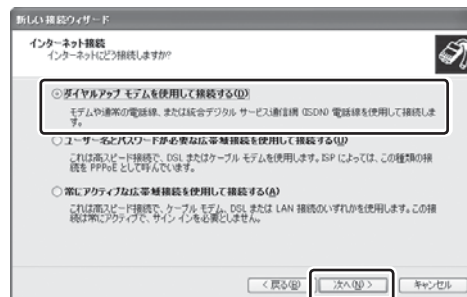
- 3 [インターネットに接続する]を選択し、[次へ]をクリックします。



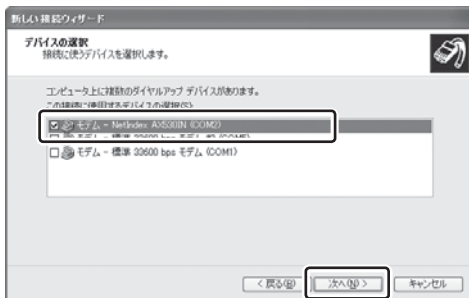
- 4 [接続を手動でセットアップする]を選択し、[次へ]をクリックします。



- 5 [ダイヤルアップモデムを使用して接続する]を選択し、[次へ]をクリックします。



- 6 [デバイスの選択]で[モデム - NetIndex AX530IN]にチェックをつけて、[次へ]をクリックします。内蔵モデムなど他のモデムがインストールされていない場合は、この画面が表示されませんので手順7へ進んでください。



- 7 [ISP名]としてプロバイダの名称や通信方式など(例ではAX530IN)を入力して[次へ]をクリックします。(ここに入力された名前は作成している接続の名前になります。)



- 8 プロバイダから取得したアクセスポイントの電話番号を確認します。
電話番号の入力は契約したプロバイダのアクセスポイントがどのような通信方式をとっているかによって、それぞれ変わってきます。(「通信方式の設定について」※11ページ)
プロバイダから取得した情報をもとにアクセスポイントの通信方式を確認してください。

- 9 [電話番号]へ手順8で確認した電話番号を入力します。
利用する通信方式に対応した電話番号(例：0570-570-△△△)を市外局番から入力し、電話番号の最後に通信方式を指定する##mnを加えてください。

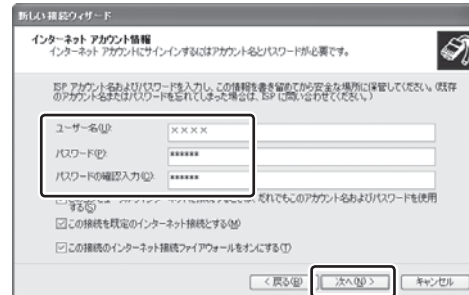
お願い

- 電話番号入力時、局番間の- (ハイフン) は入力不要です。
以下のように入力してください。電話番号は例です。

◆ 32kPIAFSの場合	: 0570570△△△##3
◆ 64kPIAFS (ベストエフォート)の場合	: 0570570△△△##4
◆ フレックスチェンジ方式の場合	: 0570570△△△##7
◆ 1 x パケット方式の場合	: 0570570△△△##61
◆ 2 x / 4 x / 8 x パケット方式の場合	: 0570570△△△##64



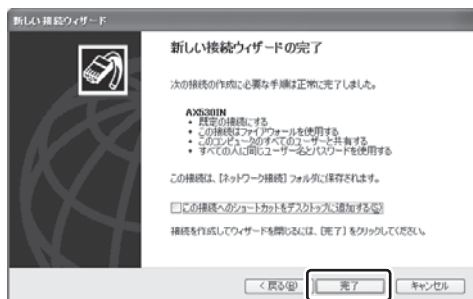
- 10 インターネットアカウント情報(ユーザー名、パスワード)を入力し、[次へ]をクリックします。



お願い

- 画像のユーザー名は[××××]となっていますが、実際にはお客様ご自身がプロバイダから取得したユーザー名を入力してください。

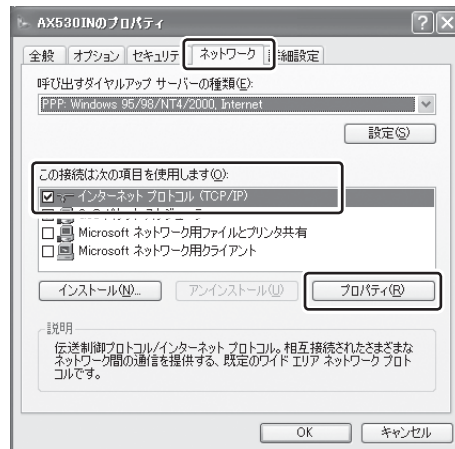
- 11 [完了]をクリックします。[接続]画面が表示されしたら[キャンセル]をクリックします。



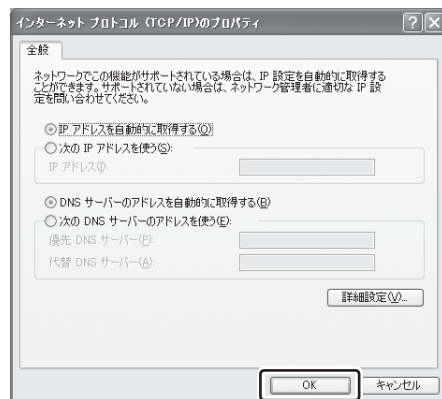
- 12 デスクトップ画面の[スタート]から[コントロールパネル]→[ネットワークとインターネット接続]→[ネットワーク接続]画面を開きます。
手順⑦で入力した接続名(例ではAX530IN)のアイコンが作成されています。アイコンを右クリックし、[プロパティ]を開きます。



- 13 [AX530INのプロパティ]画面にて[ネットワーク]タブを選択し、[この接続は次の項目を使用します]にて[インターネットプロトコル(TCP/IP)]にチェックをつけます。[プロパティ]をクリックします。



- 14 プロバイダの指示に従って設定を行ってください。設定が完了したら、続けて[OK]をクリックし、[AX530INのプロパティ]画面を閉じてください。これで設定は完了です。



お願い

- プロバイダからDNSアドレスが指定されていない場合や接続ができない場合は、[DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する]を選択してください。

インターネットに接続する

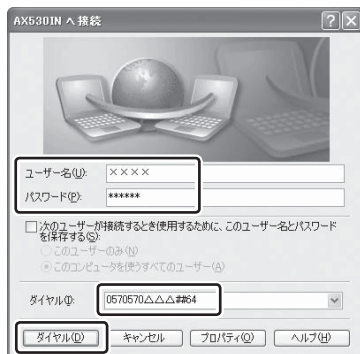
インターネットに実際に接続するためには、プロバイダから取得した以下の情報を手元に用意してください。

- ◆ ユーザー名
- ◆ パスワード
- ◆ プロバイダの電話番号(アクセスポイント)

- 1 デスクトップ画面上の[スタート]から[コントロールパネル]→[ネットワークとインターネット接続]→[ネットワーク接続]画面を開きます。「プロバイダの各種設定を行う」(※42ページ)の手順④のアイコン(例ではAX530IN)を選択し、ダブルクリックします。



- 2 プロバイダから取得したユーザー名、パスワード、電話番号を入力し、[ダイヤル]をクリックします。
プロバイダへの接続が開始されます。



お願い

- 画像のユーザー名は「XXXX」となっていますが、実際にはお客様ご自身がプロバイダから取得したユーザー名を入力してください。

- 3 インターネットエクスプローラなどのブラウザを起動してください。

接続を終了する

- 1 お使いのパソコンの画面右下に表示されるダイヤルアップ接続アイコンを右クリックし、表示されるメニューより[切断]をクリックします。



←ダイヤルアップ接続アイコン

本製品をパソコンから取り外す

- 1 お使いのパソコンの画面右下に表示されるハードウェアの取り外しアイコンをクリックし、表示されたハードウェアから[NetIndex AX530IN]をクリックします。



←ハードウェアの取り外しアイコン

- 2 [NetIndex AX530IN は安全に取り外すことができます。]のメッセージが表示されたことを確認します。
- 3 「本製品をパソコンから取り外す」(※15ページ)を参照して、本製品を取り外してください。

手動によるセットアップ —Windows Vista—

お知らせ

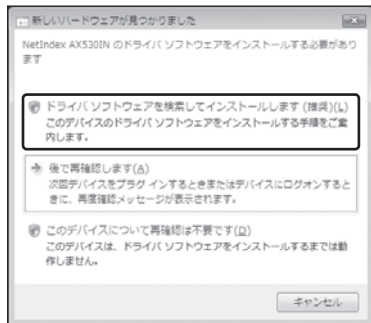
- セットアップを行う際に、ユーザーアカウント制御により許可を求める画面が表示される場合があります。その場合は[続行]をクリックしてください。

ドライバをインストールする

お知らせ

- セットアップを行う際は、「コンピュータの管理者(Administratorなど)」のユーザー名でログオンする必要があります。コンピュータのログオン用に複数のユーザー名を作成している場合にはご注意ください。

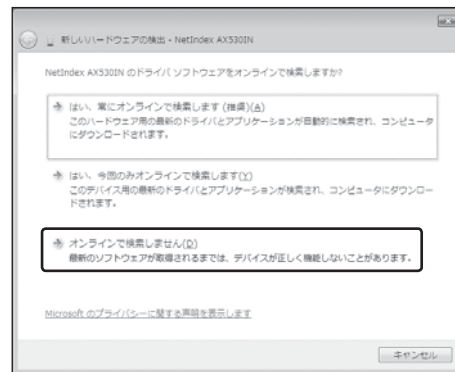
- 1 パソコンの電源をONにし、Windows Vistaを起動します。
- 2 本製品をパソコンのPCカードスロットに接続します。([「本製品の操作方法」] 14ページ)
- 3 [新しいハードウェアが見つかりました]画面が表示されます。[ドライバソフトウェアを検索してインストールします(推奨)]をクリックします。



お知らせ

- 他のモデムをインストール済みの場合は、ダイヤルアップ接続画面が表示されることがあります。その場合は、[キャンセル]をクリックしてください。

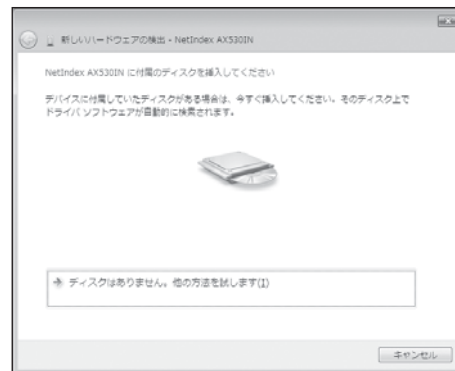
- 4 [オンラインで検索しません]をクリックします。



お知らせ

- お客様の使用環境により、手順④の画面が表示されず、手順⑤の画面に進む場合があります。

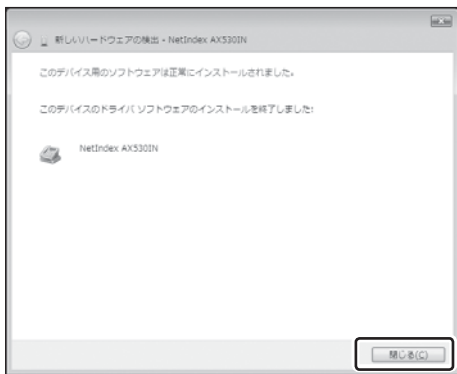
- 5 画面の指示に従い、付属のCD-ROMをパソコンにセットします。



お知らせ

- お客様の使用環境により、手順⑤の画面が表示されず、手順⑥の画面に進む場合があります。

6 [閉じる]をクリックします。



お知らせ

- これでドライバのインストールは完了です。以降は本製品をパソコンに接続するだけで自動認識されます。正しく認識されない場合は、「確認フローチャート」(P.76ページ)を参照し、確認を行ってください。

プロバイダの各種設定を行う

本製品を使ってプロバイダに接続する場合の具体的な設定例について説明します。
ここでは、以下のものが必要となります。

- ◆ プロバイダの電話番号(アクセスポイント)
- ◆ DNSアドレス(ネームサーバーアドレス)

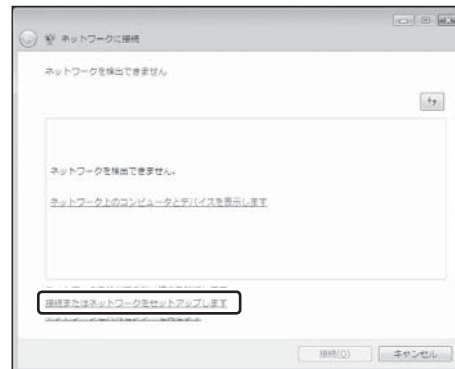
お願い

- ネットワークに接続するためには、通常ダイヤルアップネットワークを使います。ダイヤルアップネットワークがお使いのパソコンにインストールされていない場合 Windows Vistaのマニュアルをご覧ください。インストールしてください。

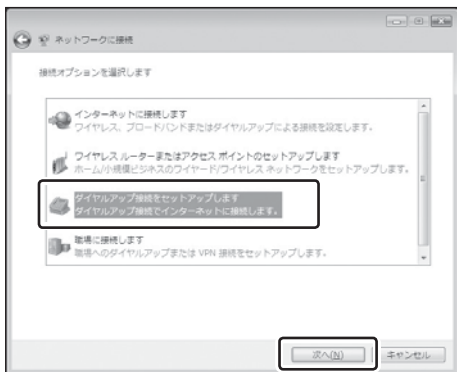
お知らせ

- インターネット簡単接続サービス「PRIN」をご利用になれば、プロバイダに加入されていない方でもすぐにインターネット接続が可能です。

1 デスクトップ画面上の[スタート]から[接続先]を開きます。[ネットワークに接続]画面にて[接続またはネットワークをセットアップします]をクリックします。



- 2 [ダイヤルアップ接続をセットアップします]を選択し、[次へ]をクリックします。



お知らせ

- モデム選択画面が表示された場合は、[NetIndex AX530IN]を選択してください。

- 3 プロバイダから取得したアクセスポイントの電話番号を確認します。

電話番号の入力は契約したプロバイダのアクセスポイントがどのような通信方式をとっているかによって、それぞれ変わってきます。(「通信方式の設定について」17ページ)
プロバイダから取得した情報をもとにアクセスポイントの通信方式を確認してください。

- 4 各情報を入力します。[ダイヤルアップの電話番号]へ手順④で確認した電話番号を入力します。

利用する通信方式に対応した電話番号(例：0570-570-△△△)を市外局番から入力し、電話番号の最後に通信方式を指定する##mnを加えてください。

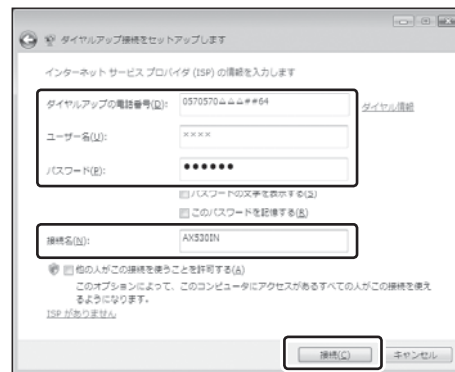
お願い

- 電話番号入力時、局番間の- (ハイフン) は入力不要です。

以下のように入力してください。電話番号は例です。

◆ 32kPIAFSの場合	: 0570570△△△##3
◆ 64kPIAFS (ベストエフォート)の場合	: 0570570△△△##4
◆ フレックスチェンジ方式の場合	: 0570570△△△##7
◆ 1 x バケット方式の場合	: 0570570△△△##61
◆ 2 x / 4 x / 8 x バケット方式の場合	: 0570570△△△##64

- 5 [ユーザー名]、[パスワード]にはプロバイダから取得した情報を入力してください。[接続名]はプロバイダの名称や通信方式など(例ではAX530IN)を入力してください。全ての入力を終えたら、[接続]をクリックします。プロバイダへの接続が始まります。



お願い

- 画像のユーザー名は[××××]となっていますが、実際にはお客様ご自身がプロバイダから取得したユーザー名を入力してください。

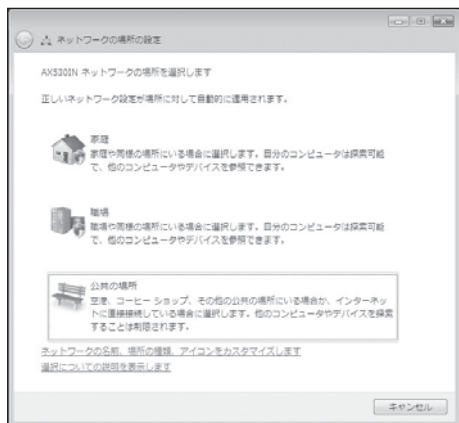
6 インターネットに接続されたことを確認し、[閉じる]をクリックします。



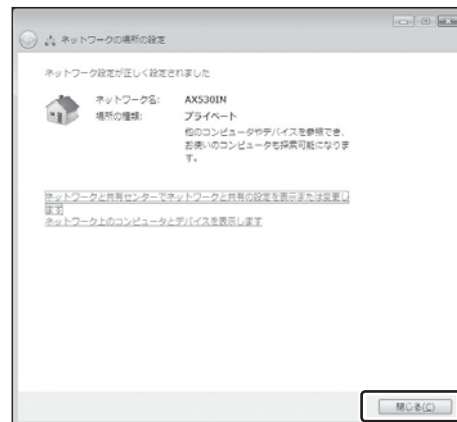
お知らせ

- 手順⑥の画面で「インターネット接続テストに失敗しました」と表示された場合は、本製品が正しく認識されていない可能性があります。下記手順にて確認を行ってください。
 - ① [接続をセットアップします]をクリックし、その後「インターネットへの接続を使用する準備ができました」という画面が表示されますので、[閉じる]をクリックしてください。
 - ② 76ページの「確認フローチャート」にて正しく認識されているか確認を行ってください。

7 ネットワークの場所を選択します。お客様の使用環境に合わせて任意の場所を選択してください。



8 [閉じる]をクリックします。



お知らせ

- [ネットワークの場所の設定]画面が表示されない場合があります。設定を変更するには、本製品をインターネットに接続した状態で、デスクトップ画面上の[スタート]から[接続先]→[ネットワークと共有センターを開きます]をクリックします。[ネットワークと共有センター]画面にて[カスタマイズ]をクリックします。[場所の種類]からお客様の使用環境に合わせた場所を選択してください。

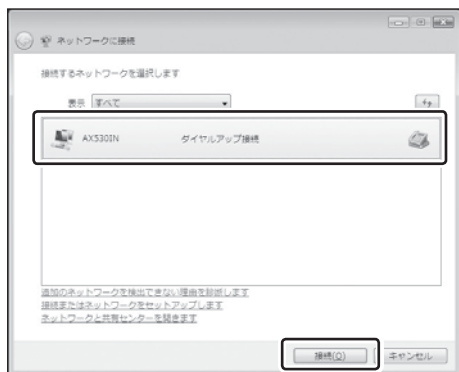
9 インターネット接続を切断します。切断方法については「接続を終了する」(P56ページ)を参照してください。これで設定は完了です。

インターネットに接続する

インターネットに実際に接続するためには、プロバイダから取得した以下の情報を手元に用意してください。

- ◆ユーザー名
- ◆パスワード
- ◆プロバイダの電話番号(アクセスポイント)

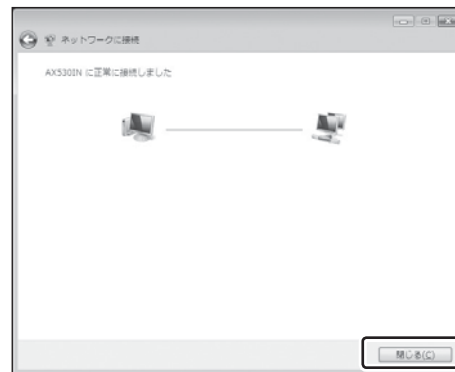
- 1 デスクトップ画面上の[スタート]から[接続先]を開きます。「プロバイダの各種設定を行う」(51ページ)の手順⑤で入力した接続先名と同じ接続先を選択し、[接続]をクリックします。または、接続先をダブルクリックします。



- 2 プロバイダから取得したユーザー名、パスワード、電話番号を入力し、[ダイヤル]をクリックします。
プロバイダへの接続が開始されます。



- 3 [閉じる]をクリックします。



- 4 インターネットエクスプローラなどのブラウザを起動してください。

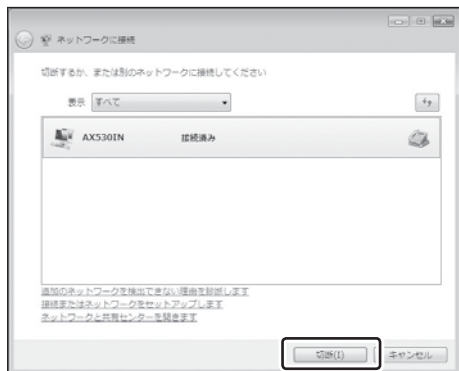
接続を終了する

- 1 お使いのパソコン画面右下に表示されるダイヤルアップ接続アイコンを左クリックし、表示されるメニューより[接続または切断]をクリックします。

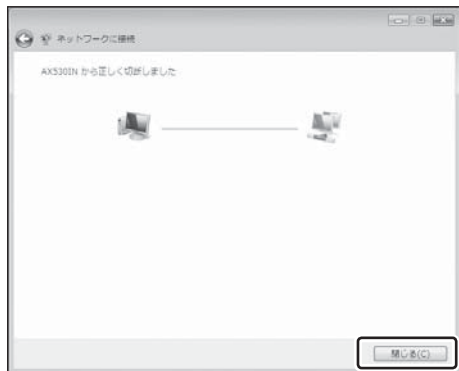


←ダイヤルアップ接続アイコン

- 2 接続先を選択し、[切断]をクリックします。または、接続先をダブルクリックします。



- 3 切断されたことを確認し、[閉じる]をクリックします。



本製品をパソコンから取り外す

- 1 お使いのパソコンの画面右下に表示されるハードウェアの取り外しアイコンをクリックし、表示されたハードウェアから[NetIndex AX530IN]をクリックします。



←ハードウェアの取り外しアイコン

- 2 [このデバイスはコンピュータから安全に取り外すことができます。]のメッセージが表示されたことを確認します。
- 3 [本製品をパソコンから取り外す](P.15ページ)を参照して、本製品を取り外してください。

手動によるセットアップ — Mac OS X —

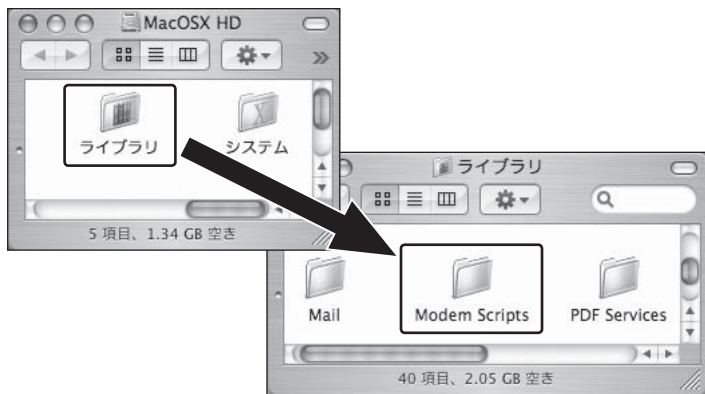
ここでは、Mac OS X 10.4.7の画面を掲載して説明しております。

ドライバをインストールする

- 1 パソコンの電源をONにし、Macを起動します。
- 2 付属のCD-ROMをパソコンにセットします。
- 3 CD-ROM内を[AX530IN]フォルダ→[Modem Script]フォルダと開いていくと[NetIndex AX530IN]ファイルが格納されています。



- 4 お使いのパソコンのハードディスクアイコンから[ライブラリ]フォルダ→[Modem Scripts]フォルダを開き、その中に手順③の[NetIndex AX530IN]ファイルをコピーします。



- 5 パソコンを再起動します。これでドライバのインストールは完了です。

プロバイダの各種設定を行う

本製品を使ってプロバイダに接続する場合の具体的な設定例について説明します。

ここでは、以下のものが必要となります。

- ◆ プロバイダの電話番号(アクセスポイント)
- ◆ DNSアドレス(ネームサーバーアドレス)
- ◆ アカウント名
- ◆ パスワード

お知らせ

- インターネット簡単接続サービス「PRIN」をご利用になれば、プロバイダに加入されていない方でもすぐにインターネット接続が可能です。

- 1 本製品をパソコンのPCカードスロットに接続します。〔「本製品の操作方法」P14ページ〕
- 2 お使いのパソコンのメニューバーにカードアイコンが表示されることを確認します。



- 3 [アップルメニュー]から[システム環境設定]を開きます。[ネットワーク]をクリックします。

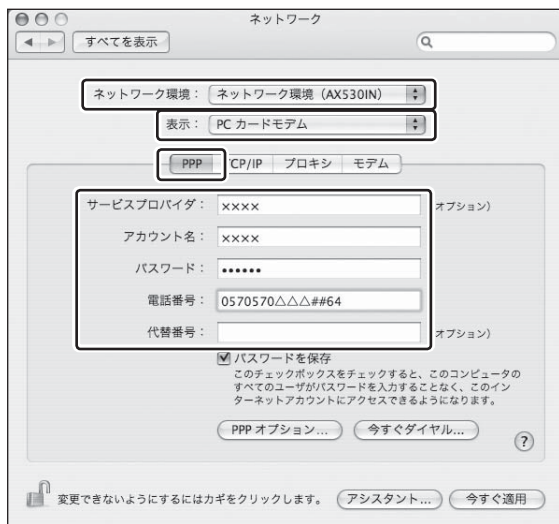


- 4 [ネットワーク]画面が表示されたら[ネットワーク環境]から[新しいネットワーク環境の名前]を選択し、任意の名前を入力して[OK]をクリックします。[表示]は[PCカードモデム]を選択します。[PPP]パネルにてサービスプロバイダ名、プロバイダから取得したアカウント名、パスワード、プロバイダの電話番号を入力します。利用する通信方式に対応した電話番号(例：0570-570-△△△)を市外局番から入力し、電話番号の最後に通信方式を指定する##mnを加えてください。

お願い

- 電話番号入力時、局番間の- (ハイフン)は入力不要です。以下のように入力してください。電話番号は例です。

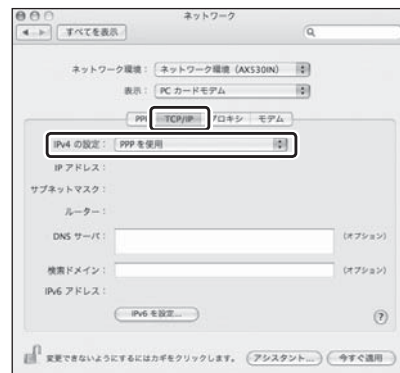
- ◆ 32kPIAFSの場合 : 0570570△△△##3
- ◆ 64kPIAFS (ベストエフォート)の場合 : 0570570△△△##4
- ◆ フレックスチェンジ方式の場合 : 0570570△△△##7
- ◆ 1xバケット方式の場合 : 0570570△△△##61
- ◆ 2x/4x/8xバケット方式の場合 : 0570570△△△##64



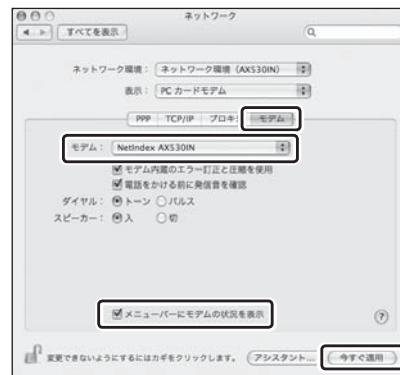
お願い

- 画像のサービスプロバイダ名/アカウント名は[xxxx]となっていますが、実際にはお客様ご自身が契約されたプロバイダ名および取得したアカウント名を入力してください。

- 5 [TCP/IP]パネルを選択します。[IPv4の設定]は[PPPを使用]を選択します。その他、[DNSサーバ]などの設定についてはプロバイダの指示に従ってください。



- 6 [モデム]パネルを選択します。[モデム]は[NetIndex AX530IN]を選択し、[メニューバーにモデムの状況を表示]にチェックを入れます。[今すぐ適用]をクリックし、[ネットワーク]画面を閉じてください。



お願い

- モデムの一覧に[NetIndex AX530IN]が表示されない場合、お使いのパソコンに本製品が正しく認識されていないことが考えられます。その場合は、この手順を一時中断し、再度ドライバのインストールを行ってください。(「ドライバをインストールする」58ページ)

インターネットに接続する

インターネットに実際に接続するためには、プロバイダから取得した以下の情報を手元に用意してください。

- ◆ プロバイダの電話番号(アクセスポイント)
- ◆ アカウント名
- ◆ パスワード

- 1 ハードディスクアイコンから[アプリケーション]フォルダー→[インターネット接続]をダブルクリックします。



- 2 [PCカードモデム]をクリックします。プロバイダの電話番号、プロバイダから取得したアカウント名、パスワードを確認し[接続]をクリックします。プロバイダへの接続が開始されます。



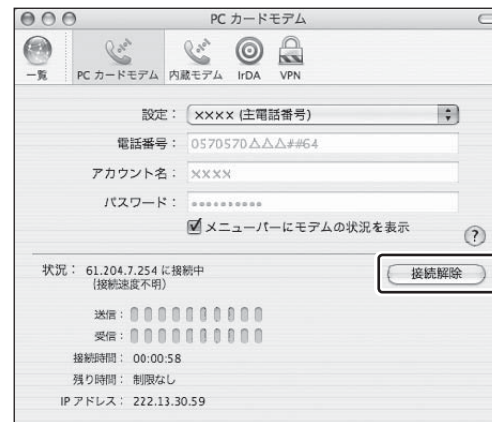
お願い

- 画像のアカウント名は[××××]となっていますが、実際にはお客様ご自身がプロバイダから取得したアカウント名を入力してください。

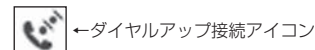
- 3 サファリなどのブラウザを起動してください。

接続を終了する

- 1 [インターネット接続]画面の[接続解除]をクリックしてください。

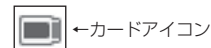


または、お使いのパソコンのメニューバーに表示されるダイヤルアップ接続アイコンをクリックし、表示されるメニューより[接続解除]をクリックします。



本製品をパソコンから取り外す

- 1 お使いのパソコンのメニューバーに表示されるカードアイコンをクリックします。



- 2 メニューに[NetIndex AX530IN]が表示されていることを確認し、[カード電源 切]をクリックします。
- 3 カードアイコンの表示が消えたら「本製品をパソコンから取り外す」(E15ページ)を参照して、本製品を取り外してください。

ドライバをアンインストールする

ここでは、手動による本製品のアンインストール方法を説明します。

お願い

- 本製品がパソコンに正しく認識されなかった場合は、本製品のアンインストールを行ってから再度、セットアップを行い、本製品を認識させてください。

Windows の場合

ここでは、Windows XPを使用した方法を説明します。

- 1 本製品をパソコンに接続します。
- 2 デスクトップ画面上の[スタート]から[マイコンピュータ]を右クリック→[プロパティ]をクリックします。[システムのプロパティ]画面が表示されたら[ハードウェア]タブを選択し、[デバイスマネージャ]をクリックします。

お知らせ

- [デバイスマネージャ]画面の表示方法は、お使いのパソコンのOSによって異なります。Windows 2000/Windows Vistaをお使いの場合は「設定画面の表示方法」(※90ページ)を参照してください。

- 3 [デバイスマネージャ]画面にて[モデム]をダブルクリックし、[NetIndex AX530IN]を削除します。
- 4 「本製品をパソコンから取り外す」(※15ページ)を参照して、本製品を取り外してください。

お知らせ

- 手順④で[NetIndex AX530IN]が表示されていない場合
 - 本製品がパソコンに正しく認識されていない場合は、[デバイスマネージャ]の[その他のデバイス]に登録されている可能性があります。
[その他のデバイス]をダブルクリックし[NetIndex AX530IN]を削除してください。
 - [モデム]に[NetIndex AX530IN]が表示されない場合、誤って別なもので認識されている可能性があります。お使いのパソコン画面右下に表示されるハードウェアの取り外しアイコン※1をダブルクリックし、そこで表示されたものと同じものを削除してください。

※1  ←ハードウェアの取り外しアイコン(Windows XPの場合)

Mac の場合

- 1 ハードディスクアイコンから[ライブラリ]フォルダー→[Modem Scripts]フォルダを開き、その中に格納されている[NetIndex AX530IN]ファイルをゴミ箱へ移します。
- 2 「本製品をパソコンから取り外す」(※63ページ)を参照して、本製品を取り外してください。

3

ユーティリティ

ユーティリティの機能	66
通信設定機能	66
国際ローミング機能	68
ユーティリティのセットアップ	69
Windows の場合	69
Mac の場合	71

ユーティリティの機能

ユーティリティを使用することで、待受け時の受信強度の表示、分計サービス、国際ローミングの設定の変更を行うことができます。ここでは、本ユーティリティの機能、セットアップ方法、使用方法について説明します。図はユーティリティの表示例としてWindows XPの画面を掲載しておりますが、予告なく画面を変更する場合があります。

お知らせ

- ユーティリティは本製品をお使いのパソコンに接続した状態でお使いください。
- ユーティリティ動作中はダイヤルアップ接続を開始できません。接続を開始する前に必ずユーティリティを終了してください。
- ダイヤルアップ接続中はユーティリティを使用できません。

通信設定機能



情報タブ

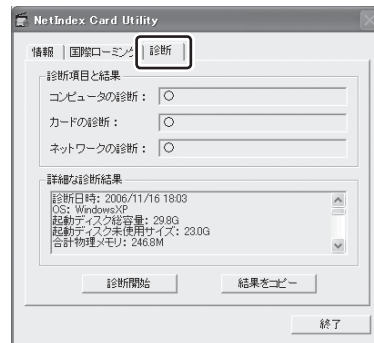
- 機種名表示**
本製品の機種名を表示します。
- ファームウェアバージョン表示**
本製品のファームウェアのバージョンを表示します。最新のファームウェアバージョンの確認およびバージョンアップについては当社ホームページをご覧ください。
URL: <http://www.netindex.co.jp/>
- 電話番号表示**
本製品に登録されている電話番号を表示します。
- 分計サービス設定**
分計サービスを使用するかどうかを設定できます。初期値は[使用しない]に設定されています。

5 電界強度表示

お客様がお使いの環境において、本製品に対する電波状況がどのようになっているかが確認できます。[圏外]表示のときには通信できません。

お知らせ

- 分計サービスとはウィルコムが提供するサービスです。通話料金の請求先を2つに分けることができますので、ビジネス用/プライベート用など、用途に応じた料金の区別が可能です。分計サービスをご利用になるには、別途ウィルコムに申込が必要です。詳しくは、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。



診断タブ

6 診断機能(Windows 版のみ)

お客様がお使いのパソコン/本製品/ネットワークについて診断をすることができます。

国際ローミング機能

国際ローミングモード設定

国際ローミングに対応したローミング先に切り替えます。
初期値は「WILLCOM / Japan」に設定されています。

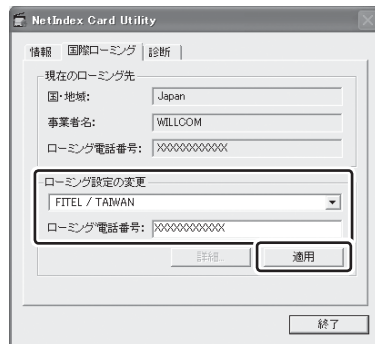


お願い

- 国際ローミングサービスをご利用になるには、別途ウィルコムに申込が必要です。
詳しくは、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。
（「お問い合わせ先」※101ページ）

設定変更

国際ローミングに対応した各国事業者にて使用される場合、[ローミング設定の変更]より事業者を選択します。[ローミング電話番号]（お客様が国際ローミング契約時に取得した番号）を入力後、[適用]をクリックします。



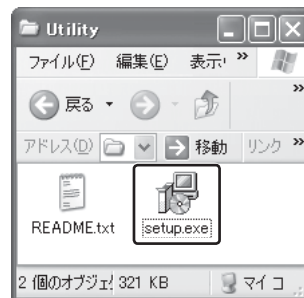
ユーティリティのセットアップ

ここでは、ユーティリティのセットアップ方法を説明します。掲載されている画面は予告なく変更する場合があります。

Windows の場合

例としてWindows XPを使用したセットアップ方法を記載しておりますが、Windows 2000/Windows Vistaにおいても手順は同様です。

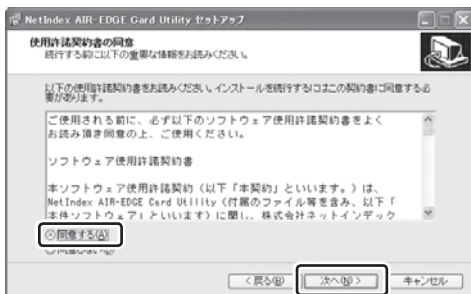
- 1 付属のCD-ROMをパソコンにセットします。
- 2 CD-ROMドライブ内を[AX530IN]フォルダー[Utility]フォルダと開き、その中の[Setup]をダブルクリックします。



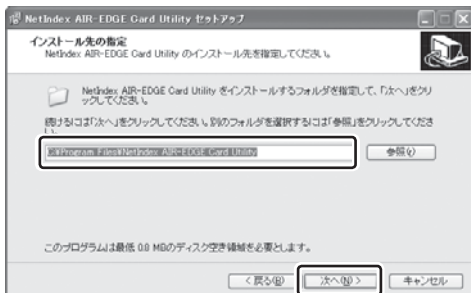
- 3 [NetIndex AIR-EDGE Card Utilityセットアップ]が起動します。[次へ]をクリックします。



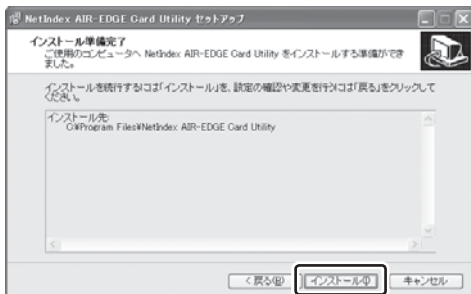
- 4 [同意する]を選択し、[次へ]をクリックします。



- 5 インストール先を指定し、[次へ]をクリックします。



- 6 [インストール]をクリックします。インストールが開始されます。



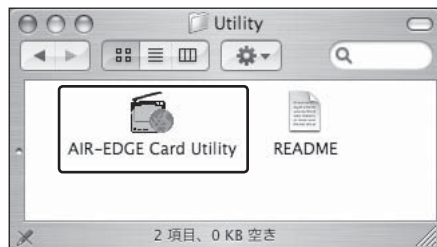
- 7 [完了]をクリックします。



- 8 セットアップは完了です。ユーティリティを起動するには、本製品をお使いのパソコンに接続した状態で、デスクトップ画面上の[スタート]から[すべてのプログラム]→[NetIndex AIR-EDGE Card Utility]→[AIR-EDGE Card Utility]を選択します。終了時には、[終了]ボタンをクリックします。

Mac の場合

- 1 付属のCD-ROMをパソコンにセットします。
- 2 CD-ROMドライブ内を[AX530IN]フォルダー[Utility]フォルダを開き、その中の[AIR-EDGE Card Utility]をパソコン内の任意のフォルダへコピーしてください。



- 3 セットアップは完了です。ユーティリティを起動するには、手順②でコピーした[AIR-EDGE Card Utility]アイコンをダブルクリックします。終了時には、[終了]ボタンをクリックします。

4

困ったときに

故障とお考えになる前に.....	74
本製品が動作しない場合の確認事項.....	74
確認フローチャート.....	76
よくある質問.....	79
仕様について.....	79
機能について.....	79
セットアップについて.....	80
その他.....	81

故障とお考えになる前に

本製品が動作しない場合の確認事項

本製品が正常に動作しない場合は、まず以下の項目を確認してください。
確認しても動作しない場合は、当社サポートデスクまでお問い合わせください。

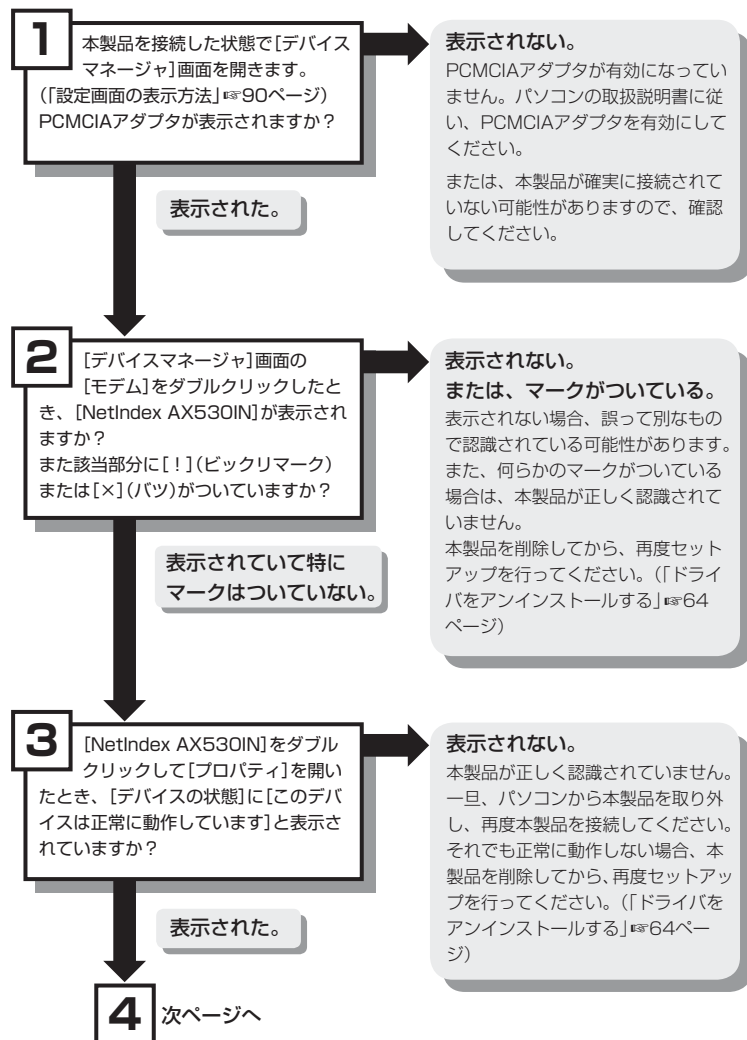
症 状	確認事項
本製品を差し込んでもパソコンが全く反応しない	●本製品が正しく接続されていない可能性があります。本製品をもう一度、奥までしっかりと挿入してください。 ●省エネタイプのパソコンでは本製品への電源をOFFにしている場合があります。本製品のランプがどちらも消灯している場合は、本製品への電源が供給されていない可能性があるため、パソコンの取扱説明書に従い、電源の状態を確認してください。 ●PCMCIAカードのドライバが正常に機能していない可能性があります。PCMCIAカードのドライバが正しく設定されていることを確認の上、本製品をパソコンへ接続してください。 (「確認フローチャート」※76ページ) ●本製品のランプの状態を確認してください。MODE側が赤点灯のままの場合、パソコンの電源をOFFにし、再度電源を投入してください。 (「表示ランプについて」※13ページ)
通信していないのに電力を消費する	●本製品をパソコンに接続した状態では、通信していなくても電力を消費します。通信しないときは、パソコンから本製品を取り外してください。
本製品をパソコンに認識させなのに通信ソフトから使えない	●本製品がパソコンに正しく認識されているか確認してください。 (「確認フローチャート」※76ページ) さらに手順に従って各項目を確認してください。
通信できない (電話がかけられない)、 電話をかけ始めると すぐ切れてしまう	●別のモデムが認識されている可能性があります。[接続]のプロパティにて[Netindex AX530IN]にチェックが付いているか確認し、それ以外のモデムにチェックされている場合は、チェックを外してください。 ●通信方式の種類・電話番号、ユーザー名、パスワードなど、また英数字の入力間違い、前後の余分なスペース(空白)など入力されていないかもご確認ください。(「設定画面の表示方法」※90ページ) ●自動再発信規制中の可能性があります。最初の発信から3分以内に行うことができる再発信は2回までです。しばらくしてから、再度発信してみてください。 ●お近くの基地局で使える回線がすべて他の人に使用されていると利用できない場合があります。しばらくしてから再度発信してみてください。 ●発信通知設定を[通知しない]に設定するとプロバイダによっては通信できない可能性があります。本製品の付属CD-ROM内の[AX530IN AT Command] ファイルを参照して確認してください。 (「コマンドリファレンス」※84ページ) なお、設定方法については、「発信者番号通知機能の設定」(※89ページ)を参照してください。 ●国際ローミング設定において、お使いになる国が一致していない可能性があります。付属のユーティリティにて、ご確認ください。 (「ユーティリティの機能」※66ページ)

症 状	確認事項
ダイヤルアップなどの通信ソフトがうまく動かない	●途中で動作する場合、あるいは一部の機能は動作するが全体としてうまく動作しない場合、通信ソフトの設定が不適切な可能性があります。通信ソフトの設定内容を確認してください。 ●パソコンの電源を一旦OFFにし、再度電源をONにしてください。 ●パソコンの電池を確認してください。電池が少なくなると動作が不安定になることがあります。電池の残量が少ない場合は新しい電池に交換するか、パソコンに付属のACアダプタを使用してください。
データ通信時、つながるとすぐ切れてしまう	●通信条件の設定が通信相手と合っていない場合があります。通信方式の種類、電話番号、ユーザー名、パスワードなどを確認してください。 設定の内容は利用されているプロバイダに、また英数字の入力間違い、前後の余分なスペース(空白)など入力されていないか合わせてご確認ください。 (「設定画面の表示方法」※90ページ) ●ダイヤルアップ接続の場合は、サーバーの設定・TCP/IPの設定も確認してください。 (「設定画面の表示方法」※90ページ) ●発信通知設定を[通知しない]に設定した場合、接続できないことがあります。本製品の付属CD-ROM内の[AX530IN AT Command] ファイルを参照して確認してください。 (「コマンドリファレンス」※84ページ) なお、設定方法については、「発信者番号通知機能の設定」(※89ページ)を参照してください。
通信が安定しない	●電波の状態や回線の状態が悪いことがあります。本製品のアンテナマーク側ランプが安定して点灯していることを確認してください。 ●同ランプが点滅している場合は、電波の届きにくい場所である可能性がありますので、安定して点灯する場所に移動してください。
通信速度が遅く感じる	●通信方式の設定が正しくない可能性があります。「通信方式の設定について」(※17ページ)および電話番号の入力方法を確認してください。 (「設定画面の表示方法」※90ページ) ●電波の状態や回線の状態が悪いことがあります。本製品のアンテナマーク側ランプが安定して点灯していることを確認してください。

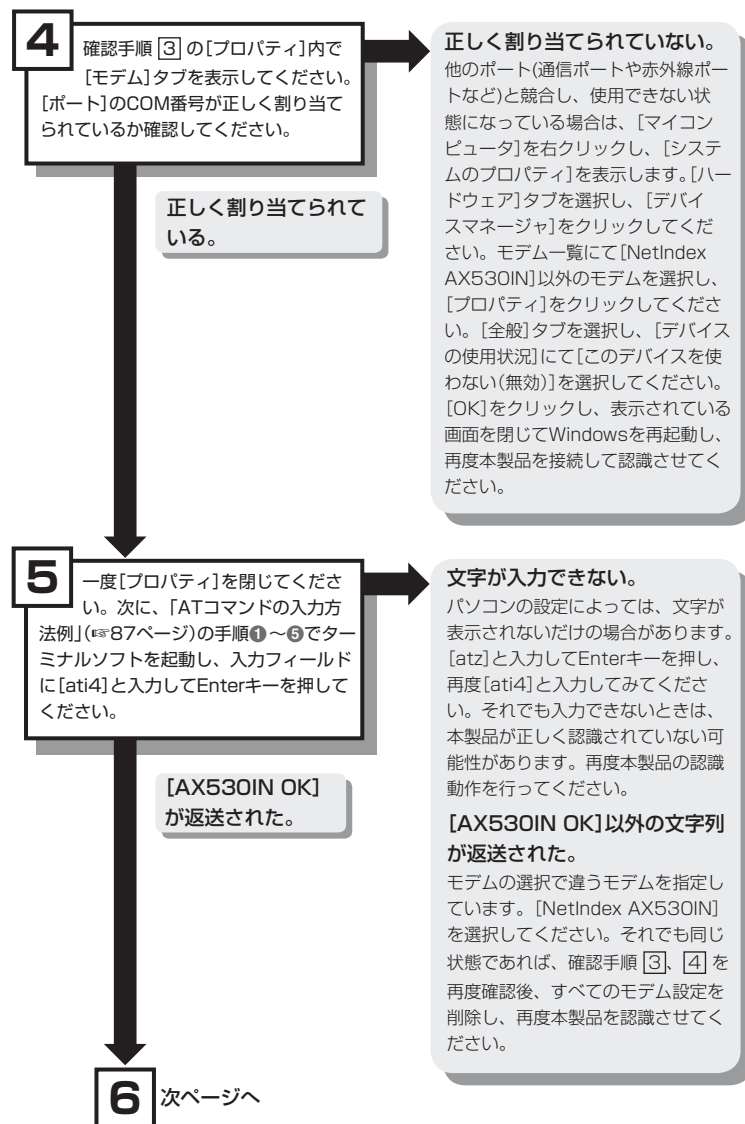
確認フローチャート

ここでは、Windows XPの場合の確認事項を説明します。他の使用環境のものに関しては、当社サポートデスクにお問い合わせください。([お問い合わせ先] 87 101ページ)

4 困ったときに



4 困ったときに



- 6** ATD (アクセスポイントの電話番号) ##mnと入力してEnterキーを押してください。
(##mnの設定は通信方式ごとに異なります。「通信方式の設定について」(※17ページ)を参照してください。)

[connect]が返送された。

[connect]以外の文字列が返送された。

通信設定が間違っています。再度設定しなおしてください。

NO CARRIERと表示された。
アクセスポイントの電話番号が正しいか、お客様ご自身の契約内容とあわせ確認してください。また[アクセスポイントの通信方式]と[通信方式の設定]が正しいか確認して、再度[ATDアクセスポイントの電話番号 ##mn]を入力してみてください。
また、ウィルコムサービスエリア内にいるか、表示ランプの▼アンテナマーク側(「表示ランプについて」(※13ページ)を参照して確認してください。

※アクセスポイントの混雑なども考えられますので、数回行ってみてください。

- 7** メニューバーの[ファイル]→[ハイパーターミナルの終了]をクリックして、ハイパーターミナルを終了し、ユーティリティをインストールしてください。([ユーティリティのセットアップ] (※69ページ)インストール後、ユーティリティを起動し、[情報]タブの[電話番号]を確認してください。

電話番号が正しく表示されている。

電話番号が正しく表示されていない。

本製品が正しく認識されていません。一旦、パソコンから本製品を取り外し、再度本製品を接続して、ユーティリティにて電話番号を確認してください。上記を数回繰り返しても電話番号が正しく表示されない場合は、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。
(「お問い合わせ先」(※101ページ)

本製品の認識(セットアップ)に問題がなく、通信可能な状態です。
ユーティリティを終了してください。

よくある質問

ここではよく寄せられる質問について、その例を示します。

仕様について

Q1. どのパソコンに接続して通信ができますか？

- A. PCカードスロットType IIを装備したパソコンでご利用いただけます。最新の動作確認機種については当社ホームページを参照してください。

URL: <http://www.netindex.co.jp/>

Q2. 動作確認機種に載っていないパソコン、OSでも本製品は使用できますか？

- A. 動作確認機種に関しては、製品の仕様などの情報から、動作可否を決定するものでなく、実機種を使用しての確認を行っております。従って、当社で確認できていない機種については、ホームページへの掲載を行っておりません。なお、動作に関しましては対応OS搭載機種は、ハード的に問題がない場合は動作する確率が高いと考えます。

Q3. 本製品にメモリ機能はありますか？

- A. メモリ機能はありません。

Q4. 消費電流はどれくらいですか？

- A. 「仕様」(※98ページ)を参照してください。

Q5. DC3.3Vに対応していますか？

- A. 対応しておりません。本製品はDC5V専用です。

機能について

Q1. 無線モデム、FAX、無線インターネットに対応していますか？

- A. 対応しておりません。

Q2. 家庭モード、トランシーバモードに対応していますか？

- A. 対応しておりません。

Q3. 本製品で音声通話はできますか？

- A. 音声通話はできません。

Q4. ウィルコムのH⁺ LINKに対応していますか？

- A. 対応しております。なお、H⁺ LINKをご利用になるには専用のソフトウェアが必要です。

お知らせ

- H⁺ LINKとはウィルコムが提供するインターネットサービスで、ウィルコムのメールアドレス(@△△.pdx.ne.jp)を使用してEメールの送受信が可能となります。ウィルコムが提供するプロバイダサービス[PRIN](手続き不要)に接続してご利用ください。

Q5. ユーティリティソフトで何ができますか？

- A. 本製品の電話番号表示、待ち受け時の電波状態表示、診断機能、分計設定、国際ローミング設定がご利用になれます。詳しくは、「ユーティリティの機能」(P.66ページ)を参照してください。

お知らせ

- お客様がお使いの場所にて電波状況を確認するには、本ユーティリティソフトが便利です。本製品をお使いのパソコンに挿入した状態でユーティリティソフトを起動することにより、ひと目で電波状況がわかります。

Q6. 分計サービス、および分計設定とは何ですか？

- A. 「分計サービス設定について」(P.18ページ)を参照してください。

Q7. 通信カードのバージョンの確認方法を教えてください。

- A. ユーティリティを使用して確認することができます。「ユーティリティの機能」(P.66ページ)

Q8. USBアダプタを使用してバージョンアップする方法は？

- A. バージョンアップは、Slipper (USBアダプタ)などを經由して行うことはできません。PCスロットに接続して行う必要があります。バージョンアップの必要性に関しては、必須ではありませんが、他にカードスロットを搭載するパソコンがない場合、当社での有償バージョンアップをご利用ください。本製品と525円切手を同封の上、下記住所へご送付ください。ご送付される場合の送料はお客様でご負担願います。到着後3、4営業日でご返却いたします。また、有償バージョンアップ中の代替カードの貸し出しは行っておりませんのでご了承ください。

●送り先

〒104-0031 東京都中央区京橋2-14-1 兼松ビル3F

株式会社ネットインデックス サポートセンター宛

大変お手数ですが、ご送付いただく際は以下の内容をご記入いただいた用紙を同封いただけますようお願いいたします。

<有償バージョンアップ希望/宛先氏名/郵便番号/住所/電話番号>

※有償バージョンアップはウィルコムサービス拠点でも承っております。詳細はご来店前に直接実施店舗にお問合せください。お近くのサービス拠点はウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。「お問い合わせ先」(P.101ページ)

セットアップについて

Q1. パソコンにCD-ROMドライブがない場合のセットアップ方法は？

- A. 当社ホームページからドライバ(モデム設定ファイル)をダウンロードしてお使いになるか、外付けCD-ROMをご利用ください。
(「外付けCD-ROMを使用したセットアップを行う場合」(P.22ページ))

Q2. セットアップの際、CD-ROMを入れ忘れてしまい、標準PCMCIAで認識してしまいました。

- A. 標準PCMCIAで誤認識された場合は、削除してから(「ドライバをアンインストールする」(P.64ページ))再度セットアップを行ってください。

- Q3. インストール中、「インストールしようとしているAIR-EDGEは、既にシステム登録されていますが、正常登録されていないようです。該当するAIR-EDGEを一旦削除してからツールを再実行して下さい。」AIR-EDGEの削除方法が分からない場合はAIR-EDGEメーカーにお問い合わせ下さい。」というメッセージが表示されるのですが、どのように削除すればよいでしょうか？

- A. 「ドライバをアンインストールする」(P.64ページ)を参照してください。

Q4. インストール中にコード10「このハードウェアのインストール中に問題があります。このデバイスを開始できません」と表示され、インストールができません。

- A. コード10表示はパソコンのIRQ割込み要求に関するエラーメッセージですので、パソコン側での対処が必要となります。コード10詳細、対処方法に関しては、パソコンメーカーにお問い合わせください。各パソコンメーカーによっては、エラーコード10表示に関する対処方法(BIOSのアップデートおよびリソース設定変更など)がホームページで公開されております。

Q5. 本製品を認識させましたが、エラーコードが表示され、接続できません。(エラー678など)

- A. エラーコードを控え、ご利用のプロバイダに接続設定をご確認ください。

その他

Q1. 外では本製品を使用し、家や会社ではその他の接続をしたい。

- A. インターネットエクスプローラなどのブラウザを起動してください。[ツール]→[インターネットオプション]画面を開き、[接続]タブをクリックします。[ネットワーク接続が存在しないときはダイヤルする]を選択し、[OK]をクリックします。

Q2. セットアップCD-ROMをなくしてしまいました。ドライバ(設定ファイル)はありますか？

- A. ドライバ(モデム設定ファイル)は当社ホームページよりダウンロード可能です。

URL: <http://www.netindex.co.jp/>

また、セットアップCD-ROMは、当社にて用意しております。ご購入いただくこととなりますが、CD-ROMの代金として300円分の切手を同封し、下記の住所へ郵送していただければ、折り返し郵送させていただきます。

●送り先

〒104-0031 東京都中央区京橋2-14-1 兼松ビル3F

株式会社ネットインデックス サポートセンター宛

大変お手数ですが、ご送付いただく際は以下の内容をご記入いただいた用紙を同封いただけますようお願いいたします。

<宛先氏名/郵便番号/住所/電話番号/購入品名(AX530IN用CD-ROM)>

Q3. 解約や契約の変更、修理をしたいのですが、どうしたらよいでしょうか？

- A. ご契約、修理の詳細、お近くのサービス拠点につきましては、ウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。「お問い合わせ先」(P.101ページ)

コマンドリファレンス	84
ATコマンド	85
Sレジスタ	86
拡張ATコマンド	86
リザルトコード	86
ATコマンドの入力方法例	87
発信者番号通知機能の設定	89
設定画面の表示方法	90
デバイスマネージャ画面 (Windows のみ)	90
接続設定画面	91
用語集	95
仕様	98
索引	99
お問い合わせ先	101

コマンドリファレンス

データ通信を行うために、本製品をパソコンから制御するためのコマンドについて説明します。なお、各コマンドの詳細については、本製品の付属CD-ROM内の[AX530IN AT Command] ファイルをご覧ください。ファイルの格納場所については下記のとおりです。

■ Windows の場合



お知らせ

- お使いのパソコンがWindowsの場合、[AX530IN AT Command] ファイルをご覧くださいにはAdobe Readerなどをインストールする必要があります。CD-ROM内の[Adobe Reader] フォルダを開き、[AdbeRdr80_ja_JP] をダブルクリックして、インストールを行ってください。

CD-ROM内を[AX530IN] フォルダ→[AT Command] フォルダと順に開き、その中の[AX530IN AT Command] ファイルをご覧ください。



■ Mac の場合

CD-ROM内を[AX530IN] フォルダ→[AT Command] フォルダと順に開き、その中の[AX530IN AT Command] ファイルをご覧ください。



本製品を制御するコマンドは、米国Hayes社の[ATコマンド]と呼ばれるコマンドで、モデムの制御などに一般的に用いられているものです。通常は、通信ソフトがATコマンドを発行するのでATコマンドを意識する必要はありません。独自に本製品を制御したい場合は、ATコマンドを制御できる通信ソフト(ハイパーターミナルなどのターミナルソフト)を用意してください。

ATコマンド

本製品では複数の通信方式が利用できますが、通信方式によってはサポートできるATコマンドが異なる場合があります。ATコマンドは、アテンションコードである‘AT’と、引き続く文字によるコマンドから構成され、以下の書式となっています。

ATMmNn . . . **[Enter]**

- AT : アテンションコード。ATコマンド列の開始を示します。
M、N : コマンド文字。ATコマンドの種類を示す文字(列)です。
m、n : コマンドパラメータ。コマンド文字で指示されたコマンドの内容を指定します。
[Enter] : キャリジリターン(エンター)キーの入力を示します。

なお、コマンドの入力は、大文字・小文字とも可能です。



お知らせ

- 「mn」には数字が入ります。

以下に代表的なコマンド例を示します。

コマンド	内 容	初期値
A/	コマンドリピート	—
ATA	応答	—
ATD	オリジネートモードへの移行	—
ATEn	コマンドエコー	1
ATHn	フック制御	—
ATIn	アイデンティフィケーション	—
ATOn	オンライン状態への移行	—
ATQn	リザルトコード設定	0
ATSr?	Sレジスタの内容表示	—
ATSr=n	Sレジスタの設定	—
ATVn	リザルト形式	1
ATXn	リザルトコードの範囲設定	4
ATW	プロファイルの読み出し	—
ATZ	ソフトリセット	—
AT¥Vn	拡張リザルトコードの選択1	1
AT¥Xn	拡張リザルトコードの選択2(プロトコル)	0
AT&Cn	DCD制御	1
AT&Dn	DTR制御	2
AT&F	デフォルト値の呼び出し	—
AT&Kn	フロー制御	3
AT&Sn	DSR信号制御	0
AT&V	現在のコンフィグレーション表示	—
AT&W	現在のコンフィグレーションのストア	—
AT&Z	プロファイルの初期化	—
+++	エスケープシーケンスコマンド	—

Sレジスタ

Sレジスタは、通信用端末としての動作を詳細に制御するための数値を保持しておくものです。一般的に、本製品の使用は、デフォルト(工場出荷時の設定)の状態が可能です。Sレジスタの内容を変更する場合には、本製品の付属CD-ROM内の[AX530IN AT Command] ファイルを参照してください。以下に代表的な例を示します。

コマンド	内 容	初期値
S0	自動着信回数の設定	0
S7	キャリア検出許可時間	50
S30	無通信監視タイマ(不活動切断タイマ)	0
S86	網切断理由	000/000

拡張ATコマンド

本製品では、固有の動作・機能をサポートするために「拡張ATコマンド」を設定してあります。一般的なデータ通信で使用する場合は、デフォルトの状態でご利用になれます。通信方式の選択など、固有の機能をご利用になる場合にご利用ください。以下に代表的な例を示します。

コマンド	内 容	初期値
AT#An	発信者番号通知機能の選択	1
AT#Bn	発信者番号表示の選択	0
AT#Cn	着信時の通話サービス表示の選択	0
AT##LEDn	待ち受け中のLED表示制御	1
AT##LEDCn	通信中のLED表示制御	1
AT@Bn	分計サービスの設定	0
AT@Dn	着サブアドレス有/無設定機能の選択	1
AT@Fn	リダイヤル情報詳細表示機能の選択	0
AT@Omn	通話サービスの変更	"-"
AT@Pn	64kデータ通信のギャランティー/ベストエフォート設定	1

リザルトコード

本製品ではATコマンドを受け付けた場合、そのコマンドに対応した動作を行い、その結果をリザルトコードとしてパソコンへ返します。

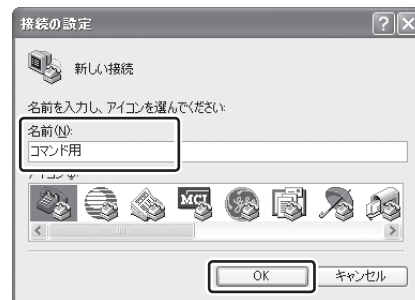
なお、サポートしていないコマンドを受けた場合には[ERROR]を返します。通信ソフトによっては、[ERROR]を受けると動作を停止するものがありますのでご注意ください。

数字	リザルト文字	内 容
0	OK	ATコマンドが正しく実行された
1	CONNECT	相手と通信状態になった データ通信モードへ復帰した
2	RING	着信あり
3	NO CARRIER	回線が切断された
4	ERROR	コマンドフォーマットエラー コマンド状態エラー
7	BUSY	相手が話中
29	DELAYED	再発信規制中

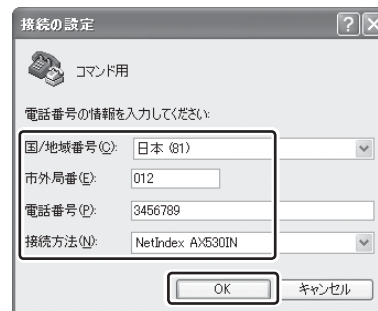
ATコマンドの入力方法例

ここでは、通信ソフトとしてWindows XPのハイパーターミナルを使って、ATコマンドを入力する方法を説明します。

- 1 [スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ハイパーターミナル]の順に開き、ハイパーターミナルを起動します。ハイパーターミナルがない場合は、[コントロールパネル]→[アプリケーションの追加と削除]→[Windowsファイル]→[通信]→[詳細]の順に開き、インストールしてください。
- 2 [接続の設定] 画面内の[名前]に任意の名前を入力し、[OK]をクリックします。



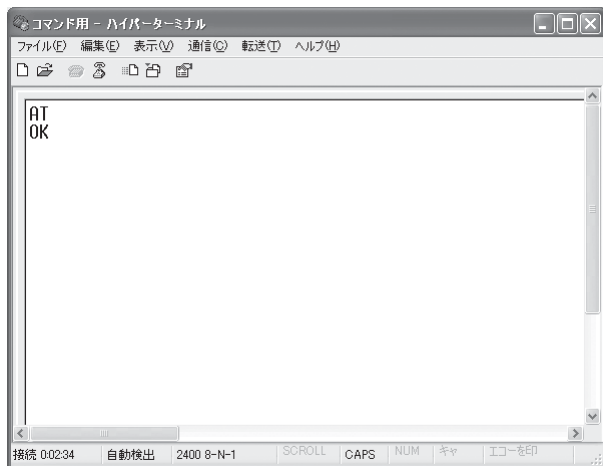
- 3 電話番号の情報を入力します。[接続方法]は[NetIndex AX530IN]を選択してください。すべての情報を入力したら、[OK]をクリックします。



- 4 [接続]画面が表示されたら、[キャンセル]をクリックしてください。



- 5 [AT]と入力しEnterキーを押したとき、[OK]と表示されたら、準備は完了です。独自の設定に変更してください。

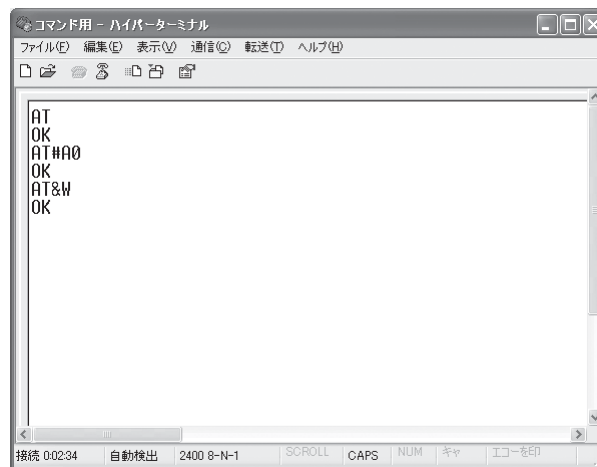


発信者番号通知機能の設定

相手側に対して、本製品の電話番号を通知するかどうかを設定できます。初期値は[通知する]に設定されています。ハイパーターミナルを使用して設定方法を説明します。

■ 発信者番号を[通知しない]に設定する場合

- 1 「ATコマンドの入力方法例」(※87ページ)の手順①～⑤を参照し、[OK]と表示されたことを確認します。
- 2 [AT#AO]と入力し、Enterキーを押します。[OK]と表示されます。
- 3 [AT&W]と入力し、Enterキーを押します。[OK]と表示されます。



これで、設定は完了です。

発信者番号を[通知する]に設定する場合は、上記設定手順②で[AT#A1]、手順③で[AT&W]と入力してください。

●お願い

- [通知しない]に設定するとプロバイダによっては通信できない可能性があります。本製品の付属CD-ROM内の[AX530IN AT Command] ファイルを参照して確認してください。

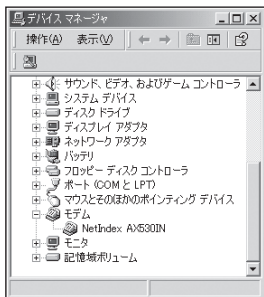
設定画面の表示方法

ここでは、各種設定画面の表示方法をパソコンのOSごとに説明します。

デバイスマネージャ画面(Windows のみ)

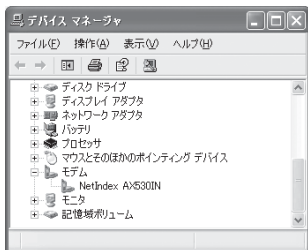
Windows 2000

デスクトップ画面上の[マイコンピュータ]を右クリック→[プロパティ]をクリックします。
[システムのプロパティ]画面が表示されたら
[ハードウェア]タブを選択し、[デバイスマネージャ]をクリックします。



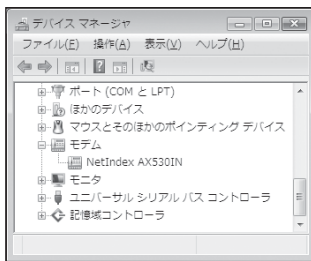
Windows XP

デスクトップ画面上の[スタート]から[マイコンピュータ]を右クリック→[プロパティ]をクリックします。
[システムのプロパティ]画面が表示されたら
[ハードウェア]タブを選択し、[デバイスマネージャ]をクリックします。



Windows Vista

デスクトップ画面上の[スタート]から[コンピュータ]を右クリック→[プロパティ]をクリックします。
[システムのプロパティ]画面が表示されたら
[デバイスマネージャ]をクリックします。



お知らせ

- Windows Vistaにて[デバイスマネージャ]画面を表示する際に、ユーザーアカウント制御により許可を求める画面が表示される場合があります。その場合は[続行]をクリックしてください。

接続設定画面

お知らせ

- アイコンの接続名はセットアップの際に入力した接続名となります。

Windows 2000

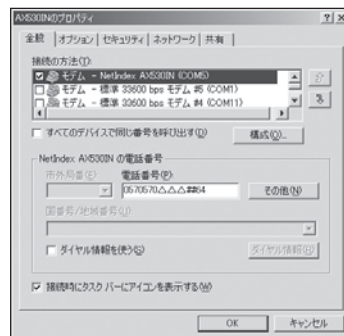
● ユーザー名/パスワード

デスクトップ画面上の[スタート]から[設定]
→[ネットワークとダイヤルアップ接続]画面
を開きます。
接続アイコンをダブルクリックします。



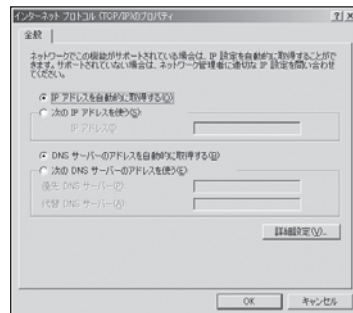
● 電話番号

デスクトップ画面上の[スタート]から[設定]
→[ネットワークとダイヤルアップ接続]画面
を開きます。
接続アイコンをダブルクリックします。
プロパティをクリックし、[全般]タブを選択
します。



● インターネットプロトコル(TCP/IP)

デスクトップ画面上の[スタート]から[設定]
→[ネットワークとダイヤルアップ接続]画面
を開きます。
接続アイコンをダブルクリックします。
プロパティをクリックし、[ネットワーク]
タブを選択します。
インターネットプロトコル(TCP/IP)を選択
し、[プロパティ]をクリックします。



Windows XP

● ユーザー名/パスワード/電話番号

デスクトップ画面の[スタート]から[コントロールパネル]→[ネットワークとインターネット接続]→[ネットワーク接続]画面を開きます。

接続アイコンをダブルクリックします。



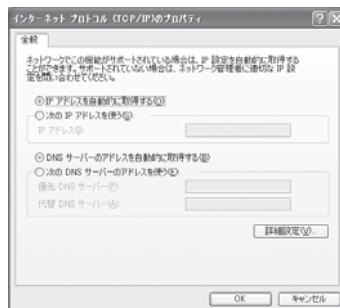
● インターネットプロトコル(TCP/IP)

デスクトップ画面の[スタート]から[コントロールパネル]→[ネットワークとインターネット接続]→[ネットワーク接続]画面を開きます。

接続アイコンをダブルクリックします。

プロパティをクリックし、[ネットワーク]タブを選択します。

インターネットプロトコル(TCP/IP)を選択し、[プロパティ]をクリックします。



Windows Vista

● ユーザー名/パスワード/電話番号

デスクトップ画面の[スタート]から[接続先]画面を開きます。

接続先を選択し、[接続]をクリックします。または接続先をダブルクリックします。



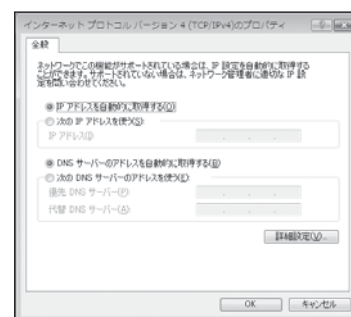
● インターネットプロトコル(TCP/IP)

デスクトップ画面の[スタート]から[接続先]画面を開きます。

接続先を選択し、[接続]をクリックします。または接続先をダブルクリックします。

[プロパティ]をクリックし、[ネットワーク]タブを選択します。

[この接続は次の項目を使用します]で[インターネットプロトコルバージョン4]を選択した状態で、[プロパティ]をクリックします。



Mac OS X

- **アカウント名／パスワード／電話番号**
[アップルメニュー]から[システム環境設定]→[ネットワーク]画面を開きます。

[ネットワーク環境]は「プロバイダの各種設定を行う」の手順④(※60ページ)で作成した名前を選択、[表示]は[PCカードモデム]を選択します。
[PPP]パネルを選択します。



- **インターネットプロトコル(TCP/IP)**
[アップルメニュー]から[システム環境設定]→[ネットワーク]画面を開きます。

[ネットワーク環境]は「プロバイダの各種設定を行う」の手順④(※60ページ)で作成した名前を選択、[表示]は[PCカードモデム]を選択します。
[TCP/IP]パネルを選択します。



用語集

【ATコマンド】

米国Hayes社の[ATコマンド]と呼ばれるコマンドで、モデムの制御などに一般的に用いられているものです。ATコマンドは、アテンションコードである 'AT' と、引き続き文字によるコマンドから構成されます。

【bps】

Bit Per Secondの略です。情報をやりとりするスピードの単位で、1秒間に送信できるビット数を表します。

【CCLファイル】

Mac OS上において各種周辺デバイスの詳細を定義するファイルで、Open Transport/PPPやApple Remote Accessクライアントなどの通信ソフトで本製品を利用するのに必要なモデム設定ファイルです。

【DTE速度】

パソコンからモデムまでの通信速度のことをいいます。

【ISP】

Internet Service Providerの略称でプロバイダと同じです。

【PC Card Standard】

PCMCIAと日本電子工業振興協会(JEIDA)が共同で開発したカード型機器の規格です。この規格に準拠したカード型機器のことを「PCカード」と呼びます。

【PCMCIA】

Personal Computer Memory Card International Associationの略です。日本電子工業振興協会(JEIDA)と共にPC Card Standardを開発した団体のことです。PCカードのインタフェース規格を意味する場合もあります。

【Sレジスタ】

Sレジスタは、通信用端末としての動作を詳細に制御するための数値を保持しておくものです。

【W-OAM】

ウィルコムの高効率化PHS通信規格で、WILLCOM Optimized Adaptive Modulationの略です。電波状態が良好な時には、より高度な変調方式に切り替え、電波が弱い状況においては、より安定性が高い変調方式に自動的に切り替えます。

【W-OAM typeG】

これまでの「W-OAM」の「8PSK」、「QPSK」、「BPSK」の3つの変調方式に加え、「64QAM」、「32QAM」、「16QAM」というさらに高速な3つの変調方式に対応しています。これまでの「W-OAM」に比べ、速度が向上するとともに、電波の状態に応じた変調方式の切り替えをより速く自動的に選択するシステムを有しており、変調方式の切り替えがよりスムーズに実施されます。

【1 x パケット方式】

データをパケット単位に分割して効率的に送る通信方式です。

【2 x パケット方式】

1x/パケット方式を2チャンネル束ねて増速する通信方式です。

【32kPIAFS方式】

PHSデータ通信標準規格の通信方式です。同じ方式に対応した他のデータ通信端末やISDN回線に接続されたPIAFS対応のターミナルアダプタ(TAP)などに接続することにより32kbpsのデータ通信が可能です。

【4xパケット方式】

1xパケット方式を4チャンネル束ねて増速する通信方式です。

【64kPIAFS (ベストエフォート)】

基地局の利用状況により通信速度を32/64kbpsからフレキシブルに選択、通信がつながりやすく、切断されにくい環境を実現するものです。
ISDN回線に接続されたベストエフォート方式のターミナルアダプタ(TAPB)などに接続することで最大64kbpsの高速データ通信が可能です。

【8xパケット方式】

1xパケット方式を8チャンネル束ねて増速するAIR-EDGE [PRO] 専用の通信方式です。

【アクセスポイント】

プロバイダが用意しているインターネットへの入口です。インターネットを利用するには、アクセスポイントに電話をかけて接続します。使用するモデムの通信速度によって利用できるアクセスポイントは異なります。アクセスする場合は、通信方式にあったアクセスポイントを選ぶか、アクセスポイントにあった通信方式を設定してください。

【オンラインコマンドモード】

通信相手との接続状態を保持したまま、一時的に移ったコマンドモードの状態です。エスケープコマンドによりこの状態に移行します。

【オンラインモード】

本製品が通信相手と接続されている状態です。この状態で本製品はパソコンと通信相手とのデータの受け渡しを行っています。

【回線速度】

モデム間の通信速度のことをいいます。

【拡張ATコマンド】

本製品は、PHS固有の動作・機能をサポートするために「拡張ATコマンド」を設定してあります。

【コマンドモード】

本製品がパソコンとの間でコマンドを受け取ったり、リザルトコードを送ったりしている状態です。本製品に動作環境を設定するときがこの状態です。

【セットアップファイル】

Windows OS上において各種モデムを動作させるために詳細設定が必要となります。セットアップファイルとはその設定が記述されているもので単に定義ファイル、またはinfファイルとも呼ばれます。

【データ圧縮】

データを圧縮して送信することで、同じ通信速度で多くのデータを送ることができます。本製品ではサポートしておりません。

【プラグ&プレイ】

周辺機器をパソコン本体に接続する際、ケーブルなどを接続して電源を入れると、半自動的にドライバのインストールなどを行って使える状態にしてくれる機能のことです。

【フレックスチェンジ方式】

トラフィックに応じて1xパケット方式とPIAFS方式を自動で切り替える通信方式です。

【フロー制御】

データ通信を行う際に、送信側と受信側の処理速度の違いから、データが溢れてしまうことを防ぐために行われる制御のことです。パソコンと本製品、本製品と通信相手のモデムの間などでフロー制御が生じます。本製品を利用するにあたり、フロー制御は必要なものとお考えください。
フロー制御にはRTS/CTS信号線を使用するハードウェアフロー制御と、XON/XOFFキャラクタを使用するソフトウェアフロー制御の2種類があります。XON/XOFFフロー制御では2種類の1バイト文字を使用してフローコントロールをしますので、バイナリファイルの転送などには不向きです。使用するフロー制御の方式はプロバイダなどで指定していますので、それに従ってください。

【プロバイダ】

インターネット接続のサービスを代行している業者のことをいいます。プロバイダは専用のサーバーをもっておりユーザーはそこへアクセスすれば簡単にインターネットが始められます。個人でインターネットを利用する場合には、プロバイダに加入し、認証のためのユーザー名とパスワードを発行してもらいます。

【分計サービス】

ウィルコムが提供するサービスです。通話料金の請求先を2つに分けることができますのでビジネス、プライベートなど用途に応じた料金の区別が可能です。設定はCD-ROMに入っているユーティリティソフトにより行います。分計サービスをご利用になるには、別途ウィルコムに申込が必要です。

【リザルトコード】

本製品ではATコマンドを受け付けた場合、そのコマンドに対応した動作を行い、その結果をリザルトコードとしてパソコンへ返します。

仕 様

製品名	AX530IN
対応OS	- Windows 日本語版 2000/XP/Vista - Mac OS X 10.2/10.2.1/10.2.2/10.2.3/10.2.4/10.2.5/10.2.6/10.2.7/10.2.8/10.3.4/10.3.5/10.3.6/10.3.7/10.3.8/10.3.9/10.4/10.4.1/10.4.2/10.4.3/10.4.4/10.4.5/10.4.6/10.4.7/10.4.8
形状	本体：PCカード Type II Extended
外形寸法	54 mm×127 mm×10 mm (アンテナ収納時)
重量	約62 g
使用電源	DC 5 V (カードスロットより供給) 動作保証範囲：±5 %
消費電流	約680 mA (8xパケット方式通信時平均)
環境条件	動作温度範囲：0～55 ℃ 動作湿度範囲：20～85 % RH (結露なきこと)
制御コマンド	ヘイズATコマンド準拠
通信方式	8xパケット方式／4xパケット方式／2xパケット方式／1xパケット方式／フレックスチェンジ方式／64kPIAFS (ベストエフォート)／32kPIAFS
変調方式	W-OAM typeG (BPSK/QPSK/8PSK/16QAM/32QAM/64QAM)
技術基準設計認証番号	A06-0589001

索 引

A		W	
Apple Remote Accessクライアント ...95		W-OAM95	
ATコマンド85		W-OAM typeG16, 95	
C		1	
CCLファイル95		1xパケット方式16, 95	
CD-ROM3			
D		2	
DNSアドレス26, 38, 49, 59		2xパケット方式16, 95	
E		3	
Easy Setup Tool3, 20		32kPIAFS16, 95	
Easy Setup Tool AIR-EDGE& プロバイダ簡単設定マニュアル3			
M		4	
MODE13		4xパケット方式16, 96	
O		6	
Open Transport/PPP95		64kPIAFS (ベストエフォート)16, 96	
P		8	
PCカードスロット14		8xパケット方式16, 96	
PCカードスロットコネクタ12			
S		ア	
SLレジスタ86		アカウント名60, 62	
T		アクセスポイント17, 96	
TCP/IP91, 92, 93, 94		アンインストール64	
		アンテナ12	
		アンテナマーク13	
		ウ	
		ウィルコムサービスセンター101	

カ	
拡張ATコマンド	86
株式会社ネットインデックス	101

キ	
キャリングケース	3

コ	
国際ローミング	68
梱包品	3

サ	
サポートデスク	101

シ	
自動再発信の制限	7
仕様	98

ネ	
ネームサーバーアドレス ...	26, 38, 49, 59

ハ	
パスワード	33, 44, 54, 59, 62

ヒ	
表示ランプ	13

フ	
フレックスチェンジ方式	16, 96
プロバイダ	26, 38, 49, 59, 97
分計サービス設定	18, 66

ヘ	
ベストエフォート	16

ホ	
保証書	3, 裏表紙

ユ	
ユーザー名	33, 44, 54
ユーティリティ	66

リ	
リザルトコード	86

お問い合わせ先

本製品に関する技術的なお問い合わせは、下記サポートデスクまでご連絡ください。
また、修理を依頼される場合は、ウィルコムサービスセンターまでご相談ください。

株式会社ネットインデックス

サポートデスク（通話料有料）		
受付時間	月曜日～金曜日 （土・日・祝および当社休日を除く） 当社休日については当社ホームページをご覧ください	9:00～17:30
電話番号	一般加入電話/公衆電話から	0570-041-888
	携帯電話/PHSから	03-5250-0700
URL	http://www.netindex.co.jp/	

ウィルコムサービスセンター

データ通信に関してのお問い合わせ（通話料無料）		
受付時間	年中無休	9:00～19:00
電話番号	ウィルコムの電話/通信機器から	局番なしの157
	一般加入電話/公衆電話/携帯電話/PHSから	0120-921-157

ご利用のお申し込み・お問い合わせ（通話料無料）		
受付時間	月曜日～土曜日（日・祝日を除く）	9:00～19:00
電話番号	ウィルコムの電話/通信機器から	局番なしの116
	一般加入電話/公衆電話/携帯電話/PHSから	0120-921-156

海外からのお問い合わせ（通話料有料）			
受付時間	日本時間	年中無休	9:00～19:00
	台湾時間	年中無休	8:00～18:00
	タイ・ベトナム時間	年中無休	7:00～17:00
電話番号	例)台湾からコールされる場合		009+81+3-5653-5648
	例)タイからコールされる場合		001+81+3-5653-5648
	例)ベトナムからコールされる場合		00+81+3-5653-5648

保証書

この保証書は本書記載内容で無償修理をお約束するものです。万一保証期間内に故障した場合は、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

製品名	AX530IN		
保証期間	お買い上げ日より1年間		
★お買い上げ日	年	月	日
★お客様	お名前	様	
	ご住所	〒	
	電話番号	() -	
★販売店			

★ 印欄に記入のない場合は無効となりますのでご注意ください。

※ 修理・点検などのご相談はウィルコムサービスセンターまたは当社サポートデスクにお問い合わせください。

保証規定

- 取扱説明書、その他注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合、保証期間内に限り無償修理、または他の機器との交換をいたします。
 - 保証期間内で次のような場合は有料となります。
 - 保証書の提示がない場合、または必要事項の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合
 - お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障または損傷
 - 不当な修理や改造、または異常電圧に起因する故障または損傷
 - 使用中に生じた傷、汚れなど外観上の変化
 - 火災、地震、水害、落雷などの天災地変ならびに公害や盗難、水没などによる故障または損傷
 - 故障の原因が本製品以外にある場合
 - 消耗部品の交換、仕様変更など
 - 本製品の故障、誤動作、不具合に起因する付随的損害につきまして当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - 本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This warrant is available only Japan.)
 - 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
 従って本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理・点検などのご相談は、ウィルコムサービスセンターまたは当社サポートデスクにお問い合わせください。

製造元：株式会社 ネットインデックス

〒104-0031 東京都中央区京橋2-14-1 兼松ビル3F

URL <http://www.netindex.co.jp/>

サポートデスク TEL 0570-041-888 (一般加入電話・公衆電話から)
 03-5250-0700 (携帯電話・PHSから)



第2版 2007年5月

NIX-M01-06007

NIX-M01-06007-02



- この取扱説明書の印刷には大豆油インキを使用しています。
- この取扱説明書は再生紙を使用しています。